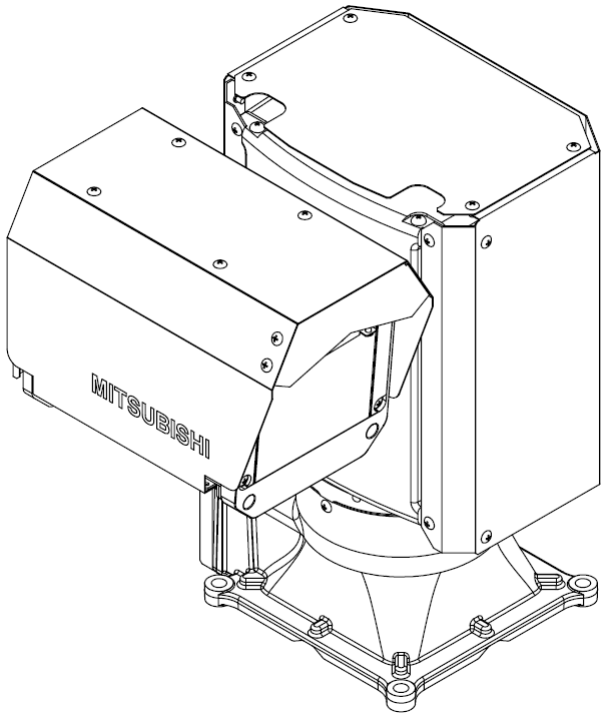
MITSUBISHI

カラーカメラ
形名
CIT-7620

取扱説明書



ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

SM-Y8022A

©2010 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHT RESERVED

この取扱説明書は再生紙を使用しております
2010 年 10 月作成

もくじ

安全のために必ずお守りください----6
特長----9
安全上のご注意----10
使用上のご注意----10
構成----11
仕様----12
各部の名称----15
接続のしかた----16
接続可能システムについて----17
　設定項目フローチャート----18
　工場出荷時設定----20
各シーンの初期値----22
　設定アイテムの選択----23
　「1.ＳＹＳＴＥＭ」メニュー----24
　「Ｈ　ＳＹＮＣ」メニュー----25
　「ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ」メニュー----26
　「ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ　ＯＮ」メニュー----26
　「ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ　ＳＥＴ」メニュー----27
　[ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥについて]----27
　「ＳＰＯＴ　ＡＥ」項目----28
　「ＳＰＯＴ　ＡＷＢ」項目----28
　「ＳＣＥＮＥ　ＦＩＴ」項目----28
　「ＩＤ　ＤＩＳＰ」メニュー----29
　「ＩＤ」メニュー----30
　[文字表示機能について]----30
　「ＧＡＩＮ」メニュー----31
　「ＩＤ＆ＧＡＩＮ」メニュー----31
　「ＩＤ　ＳＥＴ」項目----32
　「ＩＤ　ＰＬＡＣＥ」項目----33
　「ＧＡＩＮ　ＰＬＡＣＥ」項目----34
　「ＳＥＲＩＡＬ」メニュー----35
　「＊＊＊＊＊ＢＰＳ」メニュー----36
　「ＳＥＲＩＡＬ　ＳＥＴ」メニュー----37
　「ＣＡＭＥＲＡ　ＮＯ．」項目----38
　「ＤＡＴＡ」項目----38
　「ＰＡＲＩＴＹ」項目----38
　[ＳＥＲＩＡＬ設定について]----39
　「ＩＮＩＴＩＡＬ」メニュー----39
　「2．Ｙ　ＣＯＮＴＲＯＬ」メニュー----40
　「ＩＲＩＳ　ＳＥＬ」メニュー----41
　[ＩＲＩＳ　ＳＥＬ機能について]----41
　「ＳＰＯＴ」メニュー----41
　「ＷＩＮＤＯＷ」メニュー----42
　「ＷＩＤＴＨ　Ｈ」項目----43
　「ＷＩＤＴＨ　Ｖ」項目----43
　「ＬＯＣＡＴＥ　Ｈ」項目----43
　「ＬＯＣＡＴＥ　Ｖ」項目----43

[逆光補正用測光枠について]----44
「ＰＥＡＫ」メニュー----45
「ＰＥＡＫ　ＳＥＴ」メニュー----46
「ＢＲＩＧＨＴ　ＲＥＶ」メニュー----47
「ＤＡＲＫ　ＲＥＶ」メニュー----47
「ＧＡＩＮ　ＳＥＬ」メニュー----48
「ＭＧＣ」メニュー----48
「ＭＧＣ　ＳＥＴ」メニュー----49
「ＳＨＵＴＴＥＲ」項目----50
[高速シャッタについて]----51
[手動電子増感機能について]----51
「ＭＧＣ　ＬＥＶＥＬ」項目----52
「ＩＲＩＳ　ＬＥＶＥＬ」項目----52
「ＤＮＲ」項目----53
[デジタルノイズリダクションについて]----53
「ＡＧＣ」メニュー----54
「ＡＧＣ　ＳＥＴ」メニュー----55
「ＳＨＵＴＴＥＲ」項目----56
[自動電子増感機能について]----57
「ＡＵＴＯ」メニュー----57
「ＡＵＴＯ　ＳＥＴ」メニュー----58
「ＭＡＸ　ＧＡＩＮ」項目----59
「×１　ＳＨＵＴＴＥＲ」項目----59
「×１→ＳＬＯＷ」項目----60
「ＡＧＣ　ＬＥＶＥＬ」項目----60
「ＭＡＸ　ＡＧＣ」項目----61
「ＡＧＣ　ＢＯＯＳＴ」項目----61
「ＤＮＲ」項目----62
「ＧＲＡＤＡＴＩＯＮ」メニュー----63
「ＵＳＥＲ」メニュー----63
「ＵＳＥＲ　ＳＥＴ」メニュー----64
「ＧＡＭＭＡ」項目----65
「ＫＮＥＥ」項目----65
「Ｗ－ＣＬＩＰ」項目----66
「ＳＥＴ　ＵＰ」項目----66
「ＦＬＩＣＫＥＲ」メニュー----67
[フリッカについて]----67
「ＤＥＴＡＩＬ」メニュー----68
「３．ＣＯＬＯＲ」メニュー----69
「ＷＢ　ＳＥＬ」メニュー----70
「ＡＵＴＯ」メニュー----70
「ＡＵＴＯ　ＷＢ　ＳＥＴ」メニュー----71
「ＬＩＧＨＴ」項目----72
[対応照明の選択「ＬＩＧＨＴ」について]----72
「ＡＷＢ　ＡＲＥＡ」項目----73
「ＳＰＯＴ」項目----73
「ＷＩＮＤＯＷ」メニュー----74
「ＷＩＤＴＨ　Ｈ」項目----75

「ＷＩＤＴＨ　Ｖ」項目----------75
「ＬＯＣＡＴＥ　Ｈ」項目----------75
「ＬＯＣＡＴＥ　Ｖ」項目----------75
「ＡＷＢ　Ｒ－Ｙ」項目----------76
「ＡＷＢ　Ｂ－Ｙ」項目----------76
「ＨＵＥ　Ｒ－Ｙ」項目----------77
「ＨＵＥ　Ｂ－Ｙ」項目----------77
「ＭＡＮＵ」メニュー----------78
「ＭＡＮＵ　ＷＢ　ＳＥＴ」メニュー----------79
「ＭＷＢ　Ｒ－Ｙ」項目----------80
「ＭＷＢ　Ｂ－Ｙ」項目----------80
「ＨＵＥ　Ｒ－Ｙ」項目----------81
「ＨＵＥ　Ｂ－Ｙ」項目----------81
「ＡＷＢ　ＬＯＣＫ」メニュー----------82
[ホワイトバランスについて]----------82
「Ｃ　ＬＥＶＥＬ」メニュー----------83
「ＳＵＰＰＲＥＳＳ」メニュー----------83
「４．ＳＣＥＮＥ　ＦＩＴ」メニュー----------84
「ＵＳＥＲ＊」メニュー----------85
「ＩＤ　ＳＥＴ」項目----------86
「５．ＰＬＡＴＦＯＲＭ」メニュー----------87
「ＳＰＥＥＤ　ＭＯＤＥ」メニュー----------88
「Ｓ／Ｗ　ＬＩＭＩＴ」メニュー----------89
「Ｓ／Ｗ　ＬＩＭＩＴ　ＳＥＴ」メニュー----------90
「ＵＰ」項目----------91
「ＤＯＷＮ」項目----------91
「ＲＩＧＨＴ」項目----------92
「ＬＥＦＴ」項目----------92
[パン、チルトリミットについて] ----------93
「ＡＵＴＯ　ＳＰＥＥＤ」メニュー----------95
「ＡＵＴＯ　ＳＰＥＥＤ　ＳＥＴ」メニュー----------96
「ＡＵＴＯ　ＰＡＮ　ＳＰＥＥＤ」項目----------97
「ＡＵＴＯ　Ｐ／Ｔ　ＳＰＥＥＤ」項目----------97
「ＳＭＯＯＴＨ１　ＳＰＥＥＤ」項目----------97
「ＳＭＯＯＴＨ２　ＳＰＥＥＤ」項目----------97
「ＳＭＯＯＴＨ３　ＳＰＥＥＤ」項目----------98
「ＳＭＯＯＴＨ４　ＳＰＥＥＤ」項目----------98
「ＳＭＯＯＴＨ５　ＳＰＥＥＤ」項目----------98
「ＳＭＯＯＴＨ　ＥＤＩＴ」メニュー----------99
「ＳＭＯＯＴＨ　＊　ＥＤＩＴ」メニュー----------99
「ＳＭＯＯＴＨ　＊　ＳＥＴ（＄／１０）」メニュー----------100
「ＮＯ．＃　ＰＲＥＳＥＴ（＄／１０）」メニュー----------101
「ＮＯ．＃　ＷＡＩＴ（＄／１０）」メニュー----------102
「ＳＭＯＯＴＨ　＊　ＳＥＴ（１０／１０）」メニュー----------103
「ＮＯ．＃　ＰＲＥＳＥＴ（１０／１０）」メニュー----------104
「ＮＯ．＃　ＷＡＩＴ（１０／１０）」メニュー----------105
[スムースプリセットについて]----------106
「ＳＴＡＲＴ　ＵＰ」メニュー----------107

「6．ＴＩＭＥ　ＡＤＪ」メニュー----------108
「年設定」項目----------109
「月設定」項目----------109
「日設定」項目----------109
「時設定」項目----------110
「分設定」項目----------110
［時計機能について］----------110
「7．ＳＰＥＣＩＡＬ」メニュー----------111
「ＭＩＣＳＰＥＥＤ」メニュー----------112
「ＰＩＸＡＤＤ」メニュー----------113
「ＰＩＸＡＤＤ１」メニュー----------114
「ＭＯＤＥ」項目----------115
「１ＦＣ」項目----------115
「１ＦＶ」項目----------115
「１ＦＨ」項目----------116
「１ＦＤ」項目----------116
「ＰＩＸＡＤＤ２」メニュー----------117
「３ＦＶ」項目----------118
「３ＦＤ」項目----------118
「ＰＡＭＡＸ」項目----------118
［画素加算機能について］----------119
「ＭＩＳＴ」メニュー----------120
［霧除去機能について］----------120
カメラ電源について----------121
回転角度の調整----------121
スリップリングクリーニングについて----------121
脱調について----------122
デフロスタについて----------123
照明灯について----------123
定期交換部品について----------123
回転動作による劣化について----------123
レンズ動作による劣化について----------123
雷対策について----------124
ＣＣＤの傷について----------124
オートフォーカスについて----------124
映り込みについて----------125
モアレ(干渉縞)について----------125
色ノイズについて----------125
低温時の通電について----------125
ワイパ動作について----------125
故障かな？とおもったら----------126
外形----------127
保証とアフターサービス----------128

安全のために必ずお守りください

使用上のご注意説明書

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		電源プラグを抜く

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使い下さい。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの

万一異常が発生したら、電源を切る

煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使わないでください。
火災の原因となります。
このようなときはすぐに電源供給を停止してください。
煙が出なくなるのを確認して販売店に修理のご依頼を。

ケーブルを傷つけない、加工しない

重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないこと。ケーブルが破損します。
ケーブルに傷がついたまま使用すると火災　感電の原因となります。
ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災　感電の原因となります。ケーブルが傷んだらすぐに販売店にご連絡を。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないこと。
またバランス良く据え付けること。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
据え付けは販売店にご依頼を。

回転範囲内に物を置かない

回転範囲内の物を置くと物が破損し、けがの原因になります。
また、回転軸に物をはさんだりすると回転台が止まり火災、感電の原因となります。
この場合はすぐに電源供給を停止して下さい。

ケースははずさない、改造しない

本機の内部にさわったり、改造したりすると火災　感電の原因となります。
内部の点検　調整　修理は販売店にご依頼を。

回転中はさわらない

さわったり、物を当てたりすると、衣服が絡まったり、物が破損したりしてけがの原因となります。
この場合はすぐに電源供給を停止して下さい。

ご使用は指定の電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用すると、火災　感電の原因となります。

ポリ袋で遊ばない

幼児の手の届くところに置くと、頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ、窒息し死亡する恐れがあります。

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの

雷が鳴り出したら電源を切る

早めに電源供給を停止し、電源プラグを抜いて下さい。

薬品や有害ガス雰囲気内で使用しない

爆発や火災の原因となります。

カメラにつかまらない、踏まない

カメラの据付時や据付後、カメラに手をかけたり、ぶらさがったり、足で踏まないでください。外力により回転台部の水平、垂直軸が回転し、挟まったりバランスを崩したりすることがあります。

接地工事を行う

本機の接地端子(FG 端子) は D 種接地工事で接地して下さい。接地が不完全な場合や水道管　ガス管などへの接地は爆発　引火　感電の原因になります。接地線を取り付け後、電源プラグを電源に接続して下さい。また、機器の移動等で接地線を外す場合、電源プラグを電源から抜いた後で接地線を外して下さい。

電源 ON の状態でカメラに近づかない

本機の回転半径内に立ち入ると、カメラが回転した場合に危険です。また、メンテナンス時にも突然回転する場合がありますので、電源を切ってから行ってください。

⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

次のような置きかたはしない

火災　感電の原因となることがあります。
- ●横倒し、風通しの悪い場所、狭い場所に押し込む。
- ●じゅうたんや布団の上に置く、テーブルクロスなどをかけて回転を止める。
- ●熱器具のそば。

重い物をのせない、踏み台にしない

本機の上に仕様以外の物を置かないこと。
置くとバランスがくずれて倒れたり、
落下したりしてけがの原因となることがあります。
また回転せず、火災　感電の原因となることがあります。
本機の上に乗らないでください。乗ると倒れたり、
こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子さまにはご注意ください。

⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

移動させる場合は外部の接続をはずす

ケーブルに傷がつくと、火災　感電の原因となることがあります。
移動させる時は、機器の接続をはずしたことを確認してください。

２年に１度は定期点検を

販売店におまかせください。定期的に点検すると火災　故障を防ぎます。
点検費用については販売店にご相談ください。

国外での使用禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。
This equipment is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

お願い

持ち運びは、ていねいに

本機はこわれやすいので持ち運びには十分に注意して行ってください。

本体のお手入れは

お手入れの際は電源スイッチを切ってください。
水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、ふいてください。

本体を傷めないために

ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因となります。
【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】

同軸ケーブルやその他のケーブルを大切に

重い物を乗せたり、熱器具に近づけたりしないこと。ケーブルが破損します。ケーブルに傷がつくと故障の原因となります。ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡を。

特長

- カメラ、回転台一体型構造
  カメラ、21 倍ズームレンズ、プリセット機能付水平垂直回転台、カメラケースを一体化した小型高機能高性能の監視カメラです。
- 高速移動、高精度、水平エンドレス旋回
  パン方向最大 180 度/秒、チルト方向最大 90 度/秒の高速移動が可能です。（プリセット動作時）また、プリセット機能を本体内部に組み込んでいますので高精度なプリセット移動が可能です（プリセット位置精度：±0.05°）。また、水平にエンドレスで回転、垂直に+90°以上～-90°以下の広範囲な可動角度を実現します。
- 高機能なのに省線化
  専用コントローラと接続することにより、同軸ケーブル 1 本でリモートコントロールが可能です。また、パソコン等から RS-422 インタフェース又は RS-232C インタフェースでコントロールできます。
- 高解像度、高画質、低ノイズ
  有効画素数約 38 万画素（水平 768×垂直 494）の CCD とデジタル信号処理回路の採用により、水平解像度 480 本、S/N 50dB の鮮明な画像が得られます。
- 高倍率、高感度
  光学 21 倍ズームレンズの望遠監視を実現しています。また、画素加算機能の搭載により、ブレの少ない映像で 0.03lx まで撮影が可能です。電子増感により、0.0002lx まで感度アップできます。
- オートホワイトバランス
  CPU 制御によるオートホワイトバランスにより安定した色再現性が得られます。また水銀灯など放電灯に対する色補正やホワイトバランスの微調整などが行えます。
- 文字表示機能
  １２桁のカメラ ID 表示、電子増感倍率の表示機能を装備しています。表示位置の選択（6 ヶ所）も可能です。
- 外部同期方式
  専用多重化ユニットを使用すると、外部同期が自動でかかります。また、外部同期信号と映像出力信号の位相を微調整することができます。
- フリッカキャンセル機能
  電源周波数 50Hz 地域での蛍光灯下での撮影時に発生する画面のチラツキ（フリッカ）を軽減する機能を装備しています。
- 霧除去機能
  画像処理により、霧、もやを除去し、視認性を向上させる機能を装備しています。
- 可変速電子シャッタ装備
  高速で移動する被写体を鮮明にとらえるために、シャッタスピードを 1/60～1/10000 秒の 8 段階に切換られる可変速シャッタを装備しています。
- リモートコントロール機能
  専用コントローラ：当社 U-6040（SM-Y7260）（＋R-2200（SM-Y7261））、CCU カード Q-7904（SM-Y7448）、入力カード Q-7003（SM-Y7275）、S-9520SA（SM-Y7658）（＋J-4117（SM-Y7364））、R-2450（SM-Y7635）、パソコン等と接続することによりカメラの各機能を遠く離れた場所から制御することができます。

安全上のご注意

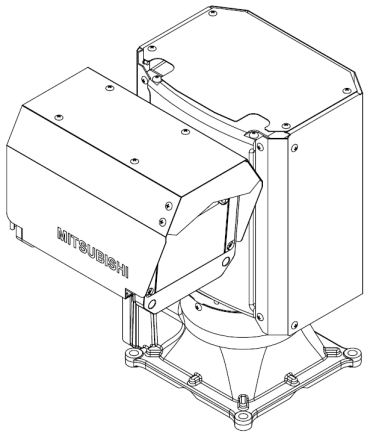
- 本機は日本国内用です。
  国外では使用できません。
- AC100V 電源でお使いください。
  50Hz/60Hz どちらでも使用できます。
- 内部には触れないでください。
  感電や事故の原因となりますので、内部には絶対に触れないでください。
- 本機を改造することや、カバーをはずしたままでの使用は危険ですので絶対にしないでください。
- 落としたり強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 万一、本機に異常（映像が出ない、におい、煙等）があった場合は直ちに電源を切って販売店へご連絡ください。

使用上のご注意

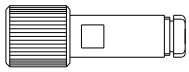
(1) 本機は精密機器ですので、サービスマン以外はふた(本体)を開けないでください。
(2) カメラを落下させたり強い衝撃を加えたりしないよう注意願います。
(3) 使用周囲温度は-30℃～＋40℃でご使用ください(-5℃以下では通電しておく必要があります）。
(4) お手入れは、電源コンセントを抜いてから行ってください。
(5) カメラを太陽に向けないでください。
(6) 動作中は、回転半径(0.5m)内に立ち入らないでください。

構成

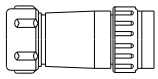
1. CIT-7620 形カメラ本体 ---------- 1
2. 同軸コネクタ（7C-2V 用） ---------- 1
3. 電源用コネクタ（3P） ---------- 1
4. RS-422/RS-232C 用コネクタキャップ（本体に装着済み） ---------- 1
5. ワイパブレード（予備） ---------- 1
6. 盗難防止ボルト（M8） ---------- 1
7. 2 つ穴付ネジ（M3） ---------- 1



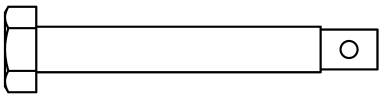
CIT-7620 本体



同軸コネクタ
（刻印 PW105-P　7C-2V 用）

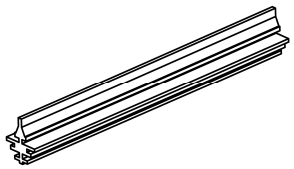


電源用コネクタ（3P）



盗難防止ボルト（M8）

2 つ穴付ネジ（M3）



ワイパブレード

（注）RS-422/RS-232C 用コネクタキャップを取り外した場合は、必ずお手元に保管してください。

仕様

■　カメラ部

(1)撮像素子	1/3 型インターライン転送方式 CCD
(2)有効画素数	768(H)×494(V)　　約 38 万画素
(3)レンズ	5.8～121.8mm　21 倍ズーム　F1.6
(4)ズーム、フォーカス	電動リモコン式
(5)アイリス	自動
(6)画角	水平：44.8°～　2.3°
	垂直：33.8°～　1.8°
(7)同期方式	専用コントローラからの外部同期／内部同期
	外部同期信号は映像出力端子より入力、
	専用コントローラより供給
(8)外部同期位相調整	H 位相 24 段階
(9)走査方式	2:1　インターレース
(10)走査周波数	水平：15.734kHz
	垂直：59.94Hz
(11)映像出力	複合映像信号　1.0V（p-p）／75Ω
(12)解像度	標準時　　水平：480 本以上　垂直：350 本以上
	電子増感時　　水平：460 本以上　垂直：260 本以上
(13)S/N	50dB 以上（AGC OFF 時）
(14)電子シャッタ	1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000［s］
(15)電子増感	標準感度の 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 20, 40, 80, 160［倍］
	自動／手動
(16)最低被写体照度	標準時　　：0.03 lx（1/60s F1.6）
	電子増感時　　：0.0002 lx（160 倍 F1.6）
(17)フリッカ補正機能	有り
(18)逆光補正機能	有り（エリア選択式）
(19)ピーク測光機能	有り
(20)グラデーション機能	ガンマ、ニー、セットアップ、ホワイトクリップの設定可能
(21)文字表示機能	有り(カナ、英数字、記号 12 桁、表示位置を 6 ヶ所から選択可能)
(22)ホワイトバランス	自動／手動／ロック
(23)エリア選択式 AWB	有り
(24)イージーシーン	有り
フィッティング機能	
(25)オートフォーカス	ワンプッシュ式

(26)制御方法	専用コントローラからのワンライン制御／RS-422(または RS-232C)
(27)最大伝送距離	1.2km（専用コントローラ間、同軸ケーブル 5C-2V または 7C-2V 使用時）
(28)画素加算機能	有り
(29)コントラスト補正機能	有り
(30)ノイズリダクション機能	有り（動き適応型 3 次元デジタルノイズリダクション方式）
(31)霧除去機能	有り
(32)ウォッチドッグタイマ機能	有り
(33)ログ機能	有り

■　回転台、ケース部

(34)設置状態	据置き（CIT-7623 は天吊り）
(35)旋回方向	PAN、TILT　同時駆動可能
(36)最大旋回角度	PAN　：360°エンドレス TILT　：+90°以上～-90°以下
(37)最大旋回速度	PAN　：180°/s TILT　：90°/s （プリセット旋回時）
(38)マニュアル旋回速度	PAN：0.5°/s、1°/s、2°/s、4°/s、8°/s、15°/s、30°/s （7 速制御。3 速制御時は、1°/s,4°/s,15°/s） TILT：0.5°/s、1°/s、2°/s、4°/s、8°/s、15°/s、30°/s （7 速制御。3 速制御時は、1°/s,4°/s,15°/s）
(39)プリセット位置精度	±0.05°
(40)プリセットポジション	256 点
(41)スムースプリセット機能	5 パターン（1 パターンあたり 48 プリセットポジション）
(42)オートパン機能	有り
(43)回転範囲制限機能	有り
(44)ワイパ	有り
(45)デフロスタ	有り（コントローラより強制 ON 可能）
(46)ヒータ	有り（カメラ部）
(47)材質	アルミ合金
(48)塗装色	マンセルＮ７（5 分ツヤ）

■　周囲環境

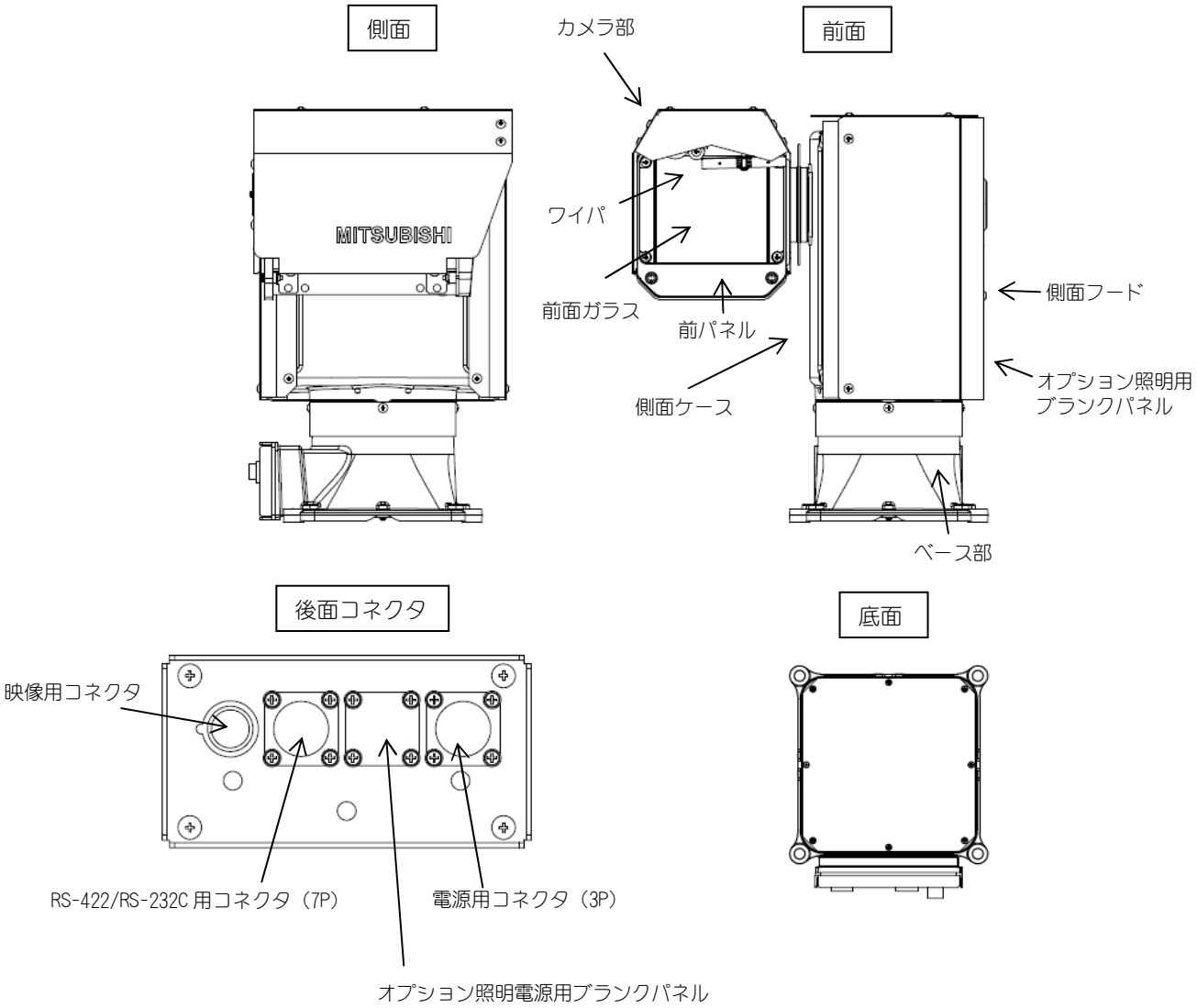
(49)温度、湿度	-30℃～+40℃　90%RH 以下 （ただし、凍結なきこと。-5℃以下の環境では通電が必要）
(50)冷却方式	強制空冷（ファン搭載）

(51)耐風速	動作可能　40m/s　以下 （照明搭載時もプリセット高速旋回可能） 非動作、非破壊　60m/s　以下
(52)防水性、防塵性	JIS C 0920　防噴流形（IP65）

■　その他

(53)電源	AC100V±10V、50Hz／60Hz
(54)消費電力	150W 以下（照明を除く）
(55)質量	13.4kg 以下（オプション除く）
(56)外形寸法	約 351(W)×408(H)×256(D) mm
(57)オプション	250W 一体型照明（1 灯） 500W 一体型照明（1 灯） 防雪フード

各部の名称



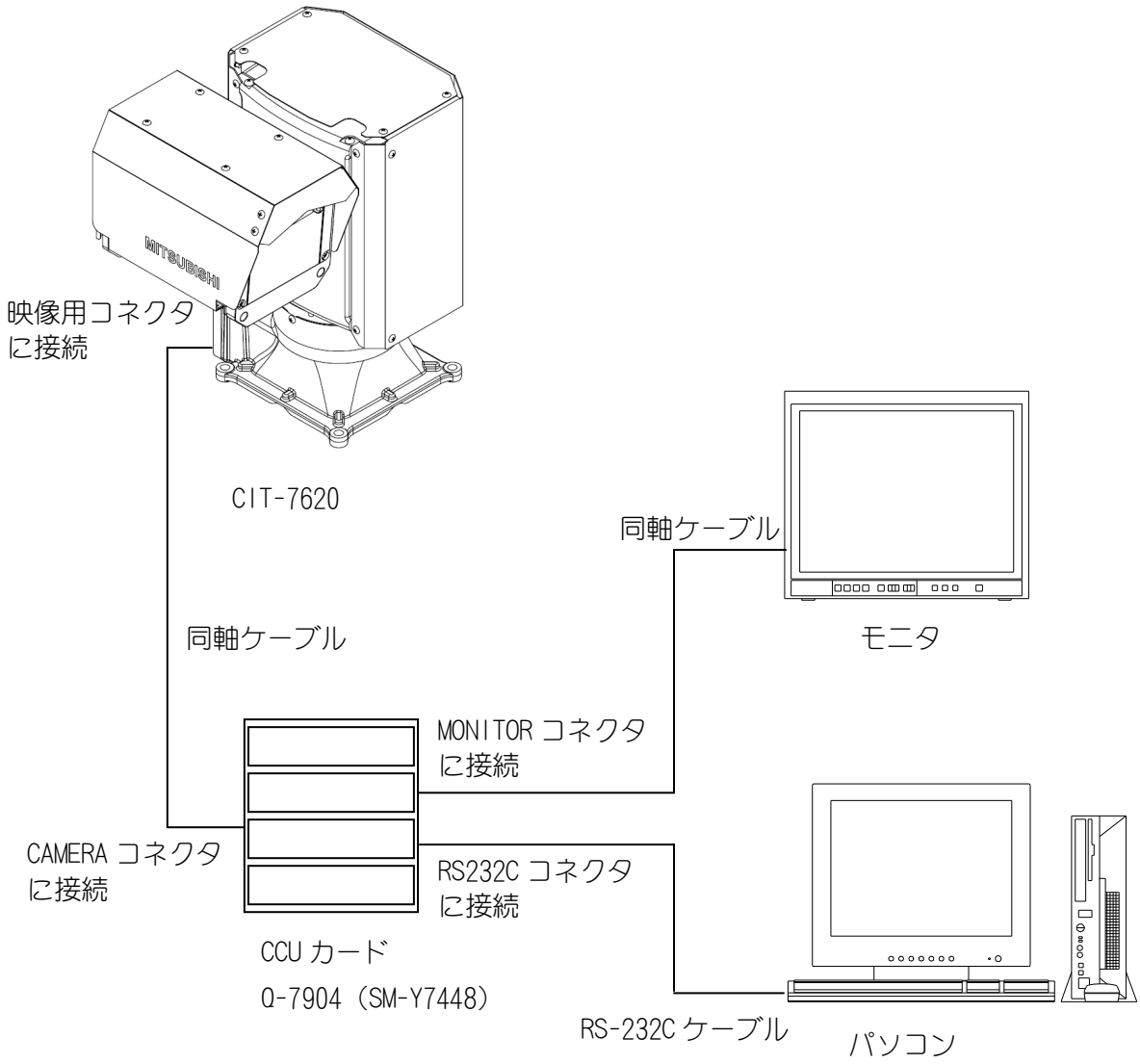
■電源用コネクタ(3P)および RS-422/RS-232C 用コネクタ(7P)の接続、盗難防止ボルトの取付けの詳細は、据付工事説明書(SM-Y8021)をご参照ください。

■本機はオプションで下記の照明を接続することが可能です。
オプション照明：K-3507　LIGHT

■本機には電源スイッチはありません。電源用コネクタに AC100V を供給することにより起動します。

（注）起動直後は、位置検出のため回転台が自動で回転し始めますので、ご注意ください。

接続のしかた



RS-422 にて CCU カード-パソコン間を接続する場合は RS-232C-RS-422 変換アダプタが必要となります。

■本機の設置工事については、据付工事説明書(SM-Y8021)をご参照ください。

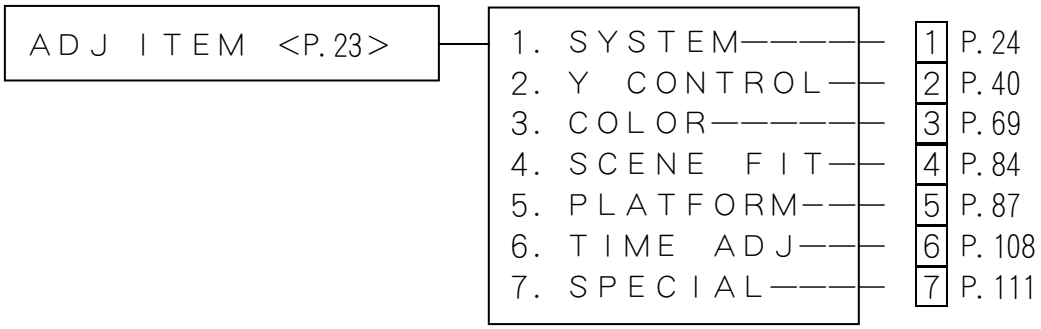
■本機の接続ケーブル、適合コネクタの詳細は、据付工事説明書(SM-Y8021)をご参照ください。

■専用コントローラの接続ケーブル、適合コネクタの詳細は、各機器の取扱説明書をご参照ください。接続可能な専用コントローラについては「接続可能システムについて」(P. 17)をご参照ください。

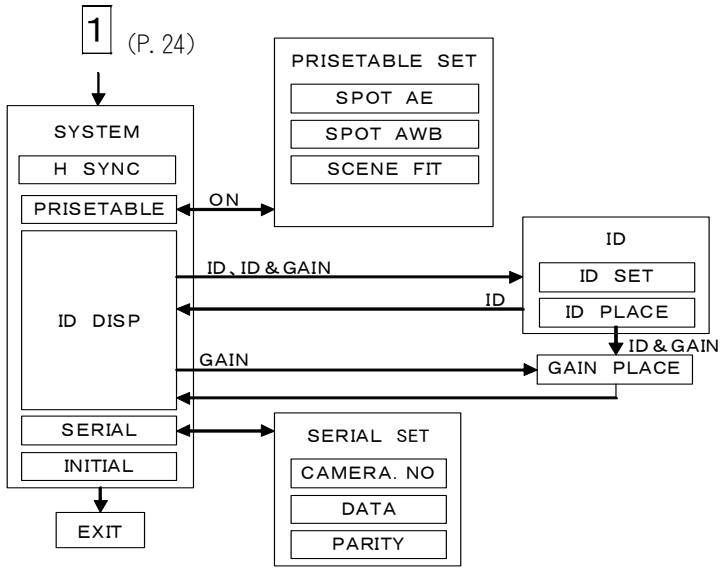
■RS-232C のインタフェースを有するパソコンから、専用コントローラ経由で本機の制御が可能です。
本機に標準装備の RS-422 インタフェースを使用して直接制御を行うことも可能です。
（別途 RS-232C⇔RS-422 変換アダプタが必要です。）

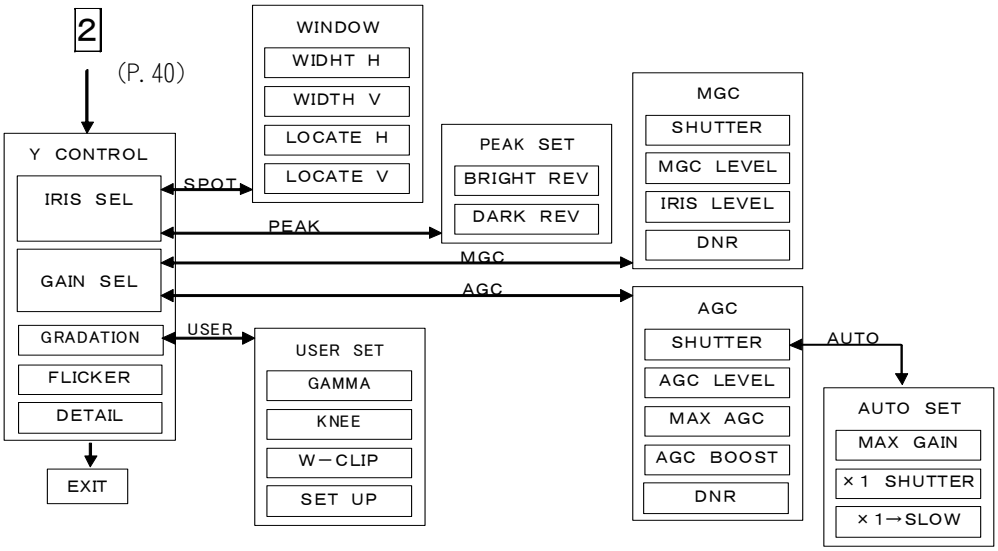
接続可能システムについて

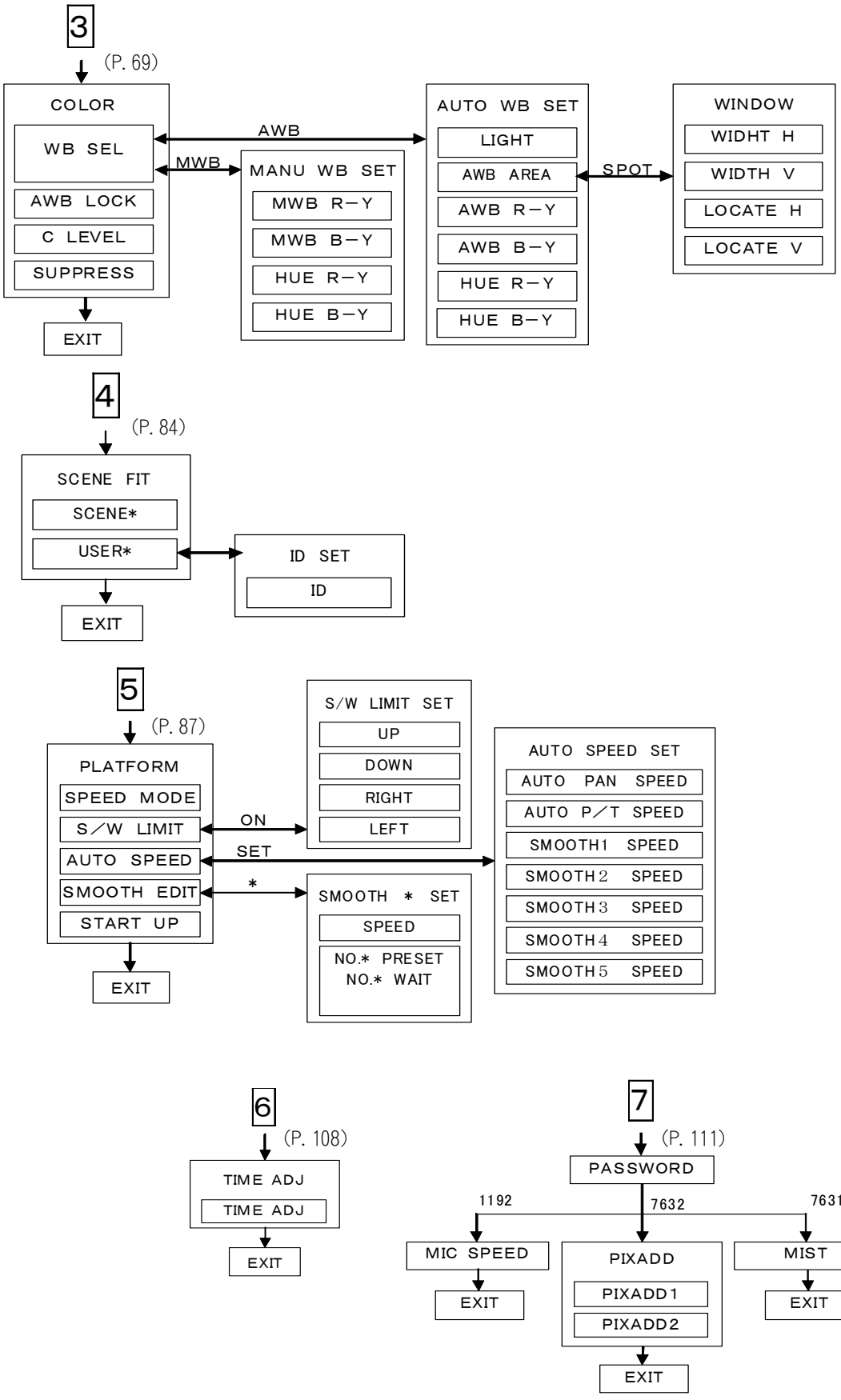
- 2010 年 9 月時点において、当社の下記の専用コントローラおよび RS-422/RS-232C 経由でパソコンと、本機との接続を確認しております。
  専用コントローラ：U-6040（SM-Y7260）（+R-2200（SM-Y7261））、CCU カード Q-7904（SM-Y7448）、
  入力カード Q-7003（SM-Y7275）、カメラコントローラーS-9520SA（SM-Y7658）
  （+J-4117（SM-Y7364））、マルチフレームコントローラーX-9620S（SM-Y7659）、
  リモートコントローラーR-2450（SM-Y7635）
  （従来コントローラとの接続では一部機能が限定される場合があります）
  接続可能なパソコンについてはお求めの販売店にご相談ください。
- 本機と上記システムとの接続は専用ユニットを必要とする場合、および制御内容に制限が発生する場合がありますので、ご注意下さい。
- S-9520SA + J-4117 と R-2450、X-9620S と R-2450 の組合せでは、以下の機能が制限されます。
  マニュアル旋回速度（3 速制御のみ。7 速制御非対応）
  プリセットポジション（16 点まで）
  デフロスタ制御（制御非対応）
- U-6040 + R-2200 の組合せでは、以下の機能が制限されます。
  マニュアル旋回速度（3 速制御のみ。7 速制御非対応）
  R-2200 からの電子増感制御（制御非対応）
- Q-7904 では、以下の機能が制限されます。
  プリセットポジション（255 点まで）
- Q-7003 では、以下の機能が制限されます。
  マニュアル旋回速度（3 速制御のみ。7 速制御非対応）
  プリセットポジション（128 点まで）
  Q-7003 からの電子増感制御（制御非対応）
- RS-422/RS-232C 経由の制御では、以下の機能が制限されます。
  プリセットポジション（255 点まで）



１～８を選択すると、
それぞれ1～8へ
遷移します。






3
(P. 69)
COLOR
WB SEL
AWB LOCK
C LEVEL
SUPPRESS
EXIT
AWB
MWB
MANU WB SET
MWB R-Y
MWB B-Y
HUE R-Y
HUE B-Y
AUTO WB SET
LIGHT
AWB AREA
AWB R-Y
AWB B-Y
HUE R-Y
HUE B-Y
SPOT
WINDOW
WIDHT H
WIDTH V
LOCATE H
LOCATE V
4
(P. 84)
SCENE FIT
SCENE*
USER*
EXIT
ID SET
ID
5
(P. 87)
PLATFORM
SPEED MODE
S/W LIMIT
AUTO SPEED
SMOOTH EDIT
START UP
EXIT
ON
SET
*
S/W LIMIT SET
UP
DOWN
RIGHT
LEFT
SMOOTH * SET
SPEED
NO.* PRESET
NO.* WAIT
AUTO SPEED SET
AUTO PAN SPEED
AUTO P/T SPEED
SMOOTH1 SPEED
SMOOTH2 SPEED
SMOOTH3 SPEED
SMOOTH4 SPEED
SMOOTH5 SPEED
6
(P. 108)
TIME ADJ
TIME ADJ
EXIT
7
(P. 111)
PASSWORD
1192
7632
7631
MIC SPEED
EXIT
PIXADD
PIXADD1
PIXADD2
EXIT
MIST
EXIT

工場出荷時には、各設定項目は以下のように設定されています。工場出荷時の状態に設定を戻すときは、「INITIAL」メニュー（P.39）で初期化してください。ただし、「4.SCENE FIT」メニューで「カセン」、「ドウロ」、「パーキング」、「ダム」が選択されているときは、一部の設定項目のみ、各シーンの初期値（P.22）となります。

1．ＳＹＳＴＥＭ

H SYNC	0M
E ZOOM	×8
PLESETABLE	ON
SPOT AE	ON
SPOT AWB	ON
SCENE FIT	ON
ID DISP	OFF
ID SET	000000000000
ID PLACE	中央下⑤
GAIN PLACE	右下⑥
SERIAL	19200BPS
CAMERA.NO	1
DATA	8BIT
PARITY	NONE
INITIAL	EXIT

2．Ｙ　ＣＯＮＴＲＯＬ

IRIS SEL	NORMAL
WIDTH H (IRIS)	9
WIDTH V (IRIS)	9
LOCATE H (IRIS)	4
LOCATE V (IRIS)	4
BRIGHT REV	2（表示左端から１つめ）
DARK REV	8（表示中央）
GAIN SEL	AGC
SHUTTER (MGC)	1/60
MGC LEVEL	-30(表示左側)
IRIS LEVEL	0（表示中央）
DNR	AUTO1
SHUTTER (AGC)	AUTO
MAX GAIN	×40
×1 SHUTTER	1/60
×1→SLOW	0（表示中央）
AGC LEVEL	0（表示中央）
MAX AGC	+12（表示右端）
AGC BOOST	OFF
DNR	AUTO1
GRADATION	NORMAL
GAMMA	3（表示中央）
KNEE	6（表示右端から１つめ）
W-CLIP	1（表示左端から１つめ）
SET UP	10（表示右端から２つめ）
FLICKER	OFF
DETAIL	+20（表示右端から１つめ）

3．ＣＯＬＯＲ

WB SEL	AUTO
LIGHT	ELECTRIC
AWB AREA	NORMAL
WIDTH H (SPOT)	9
WIDTH V (SPOT)	9
LOCATE H (SPOT)	4
LOCATE V (SPOT)	4
AWB R-Y	0（表示中央）
AWB B-Y	0（表示中央）
HUE R-Y(AWB)	12（表示中央）
HUE B-Y(AWB)	12（表示中央）
MWB R-Y	0（表示中央）
MWB B-Y	0（表示中央）
HUE R-Y(MWB)	12（表示中央）
HUE B-Y(MWB)	12（表示中央）
AWB LOCK	OFF
C LEVEL	10（表示中央から左1つめ）
SUPPRESS	12（表示中央）

4．ＳＣＥＮＥ　ＦＩＴ

SCENE FIT	USER 1
ID SET	USER ＊

5. ＰＬＡＴＦＯＲＭ

SPEED MODE	3SPEED
S/W LIMIT	EXIT
UP	------
DOWN	------
RIGHT	------
LEFT	------
AUTO SPEED	EXIT
AUTO PAN SPEED	4 DEG/S
AUTO P/T SPEED	4 DEG/S
SMOOTH1 SPEED	4 DEG/S
SMOOTH2 SPEED	4 DEG/S
SMOOTH3 SPEED	4 DEG/S
SMOOTH4 SPEED	4 DEG/S
SMOOTH5 SPEED	4 DEG/S
SMOOTH EDIT	1
START UP	NONE

6. ＴＩＭＥ ＡＤＪ

TIME ADJ	現在時刻

7. ＳＰＥＣＩＡＬ

PASSWORD	0000
MIC SPEED	8
MODE	MANUAL
1FC	2
1FV	0
1FH	0
1FD	0
3FV	0
3FD	0
PAMAX	5
MIST	OFF

各シーンの初期値

「4.SCENE FIT」メニューの「カセン」、「ドウロ」、「パーキング」、「ダム」の初期値は以下の通りです。（工場出荷時設定と異なる部分のみ記載してあります）「4.SCENE FIT」メニューで「カセン」、「ドウロ」、「パーキング」、「ダム」が選択されているとき、「INITIAL」メニューで「START」を選択すると、以下の設定に戻ります。

カセン
- ×1→SLOW ：+30
- AGC BOOST ：+6DB
- MAX GAIN ：×160

ドウロ
- ×1→SLOW ：+30
- MAX GAIN ：×4

パーキング
- ×1→SLOW ：+30

ダム
- ×1→SLOW ：-30
- AGC BOOST ：+6DB
- MAX GAIN ：×160

専用コントローラU-6040(+R-2200)、CCUカードQ-7904、入力カードQ-7003、パソコンによりＭＯＤＥスイッチを押すと、下記の設定アイテム画面が表示され、現在の選択されているアイテム番号が反転します。外部接続のカメラコントローラーS-9520SA、リモートコントローラーR-2450から下記の設定アイテム画面を表示する場合は、各コントローラーの取扱説明書をご参照ください。

ＡＤＪ　ＩＴＥＭ

1．ＳＹＳＴＥＭ
2．Ｙ　ＣＯＮＴＲＯＬ
3．ＣＯＬＯＲ
4．ＳＣＥＮＥ　ＦＩＴ
5．ＰＬＡＴＦＯＲＭ
6．ＴＩＭＥ　ＡＤＪ
7．ＳＰＥＣＩＡＬ

ＵＰ、ＤＯＷＮスイッチでアイテム番号を選択後、ＭＯＤＥスイッチを押すと、アイテム内部の各メニューへ遷移します。
外部接続のカメラコントローラ（S-9520SA、R-2450）から設定する場合、ＭＯＤＥ、ＵＰ、ＤＯＷＮスイッチは下記の通り対応します。詳しくはカメラコントローラの取扱説明書をご参照ください。
モード：[SHIFT]
アップ：[↑/ON]
ダウン：[↓/OFF]

注　ＭＯＤＥ、ＵＰ、ＤＯＷＮスイッチの入力が約１分間無ければ自動的に設定メニューは終了します。このとき表示されていた画面の設定は記憶されません。記憶させる場合はＭＯＤＥスイッチを押してください。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

1. SYSTEM　：24ページ
2. Y CONTROL：40ページ
3. COLOR　：69ページ
4. SCENE FIT：84ページ
5. PLATFORM　：87ページ
6. TIME ADJ　：108ページ
7. SPECIAL　：108ページ

「1. ＳＹＳＴＥＭ」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「1. SYSTEM」を選択すると、下記の画面が表示されます。

ＳＹＳＴＥＭ

▶	Ｈ　ＳＹＮＣ	＊＊＊＊Ｍ
	ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ	ＯＮ
	ＩＤ　ＤＩＳＰ	ＯＦＦ
	ＳＥＲＩＡＬ	＊＊＊＊＊ＢＰＳ
	ＩＮＩＴＩＡＬ	ＥＸＩＴ
	ＥＸＩＴ	

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

H SYNC ：25ページ
PRESETABLE：26ページ
ID DISP：29ページ
SERIAL ：35ページ
INITIAL：39ページ

「H　SYNC」メニュー

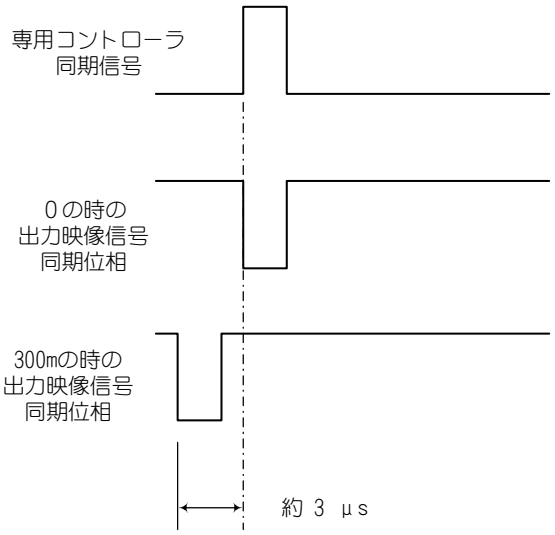
「1．SYSTEM」メニューで「H SYNC」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

S Y S T E M

▶ H　S Y N C	＊ ＊ ＊ ＊ M
P R E S E T A B L E	O N
I D　D I S P	O F F
S E R I A L	＊ ＊ ＊ ＊ ＊ B P S
I N I T I A L	E X I T
E X I T	

ケーブル伝送で発生する映像信号の遅延を補正します。専用コントローラ～カメラ間の接続距離に応じて設定します。＊＊＊＊の位置に 0～1200 の数字が 50 ステップで表示されます。0 の時、専用コントローラ同期信号に対し出力映像信号の同期位相がほぼ一致し、＋方向では位相が進みます。50 につき約 0.5μsec 位相が可変します。
（例）接続距離＝300m：300 を設定。

スイッチ説明
ＵＰ　　：＊＊＊＊を０→１２００まで５０ずつＵＰします。
ＤＯＷＮ：＊＊＊＊を１２００→０まで５０ずつＤＯＷＮします。
ＭＯＤＥ：設定値を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ



注：上図は概念図であり、実際の波形とは異なります。

「ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「PRESETABLE」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```
                    ＳＹＳＴＥＭ

   ＨＳＹＮＣ                    ＊＊＊＊Ｍ
▶ ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ           ＯＮ
   ＩＤ　ＤＩＳＰ                ＯＦＦ
   ＳＥＲＩＡＬ                  ＊＊＊＊＊ＢＰＳ
   ＩＮＩＴＩＡＬ                ＥＸＩＴ

   ＥＸＩＴ
```

プリセッタブル機能をＯＮ／ＯＦＦすることができます。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「OFF」表示時、設定を記憶し「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ
「ON」表示時、設定を記憶し「PRESETABLE　ON」メニューに遷移します。

「ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ　ＯＮ」メニュー

「PRESETABLE」メニューで「ON」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

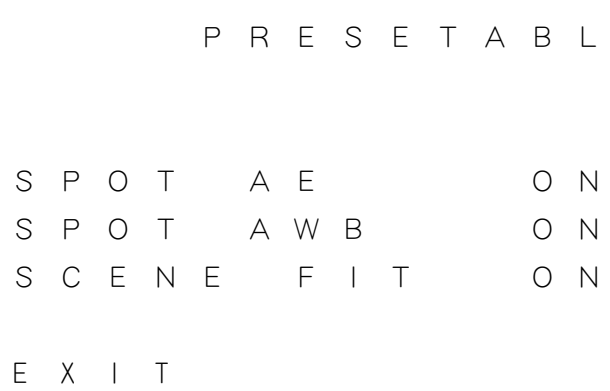
```
  ＨＳＹＮＣ          ＊＊＊＊Ｍ
▶ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ  ＯＮ      ＳＥＴ
  ＩＤ　ＤＩＳＰ      ＯＦＦ
```

プリセッタブル機能を設定したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「SET」→「ON」→「SET」・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「ON」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ
「SET」反転時、「PRESETABLE SET」メニューに遷移します。→27ページへ

「ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ　ＳＥＴ」メニュー

「PRESETABLE　SET」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



SPOT AE 枠設定、SPOT AWB 枠設定、各 SCENE FIT 設定の内容をプリセット登録し、
プリセット呼出しの際に登録内容を再現する機能です。
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SPOT AE：28ページ
SPOT AWB：28ページ
SCENE FIT：28ページ

[ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥについて]

- PRESETABLE 機能で登録可能なプリセット番号は、SPOT AE、SPOT AWB、SCENE FIT が 1～16 ポジションまでです。
- 該当項目が ON 設定のとき、プリセット登録時に該当項目の設定内容を記憶し、プリセット呼び出し時に該当項目の記憶内容をカメラに反映します。
- 該当項目が OFF 設定のとき、プリセット登録時に該当項目の設定内容を記憶しません。このとき、前回記憶内容が継続されます。またプリセット呼び出し時に該当項目の記憶内容をカメラに反映しません。

「ＳＰＯＴ　ＡＥ」項目

「ON」を設定すると、「IRIS　SEL」メニュー内「SPOT」選択時、WINDOW 設定（P.42）の PRESETABLE 機能が有効になります。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「PRESTABLE SET」メニューに戻ります。→27ページへ

「ＳＰＯＴ　ＡＷＢ」項目

「ON」を設定すると、「AUTO　WB　SET」メニュー内「AWB　AREA」の「SPOT」選択時、WINDOW 設定（P.74）の PRESETABLE 機能が有効になります。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「PRESTABLE SET」メニューに戻ります。→27ページへ

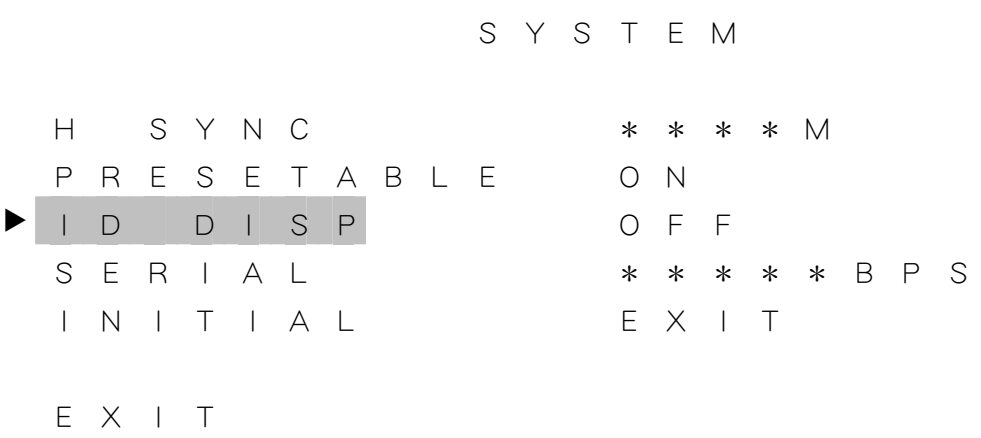
「ＳＣＥＮＥ　ＦＩＴ」項目

「ON」を設定すると、「SCENE FIT」メニューの設定（P.84）の PRESETABLE 機能が有効になります。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「PRESTABLE SET」メニューに戻ります。→27ページへ

「ＩＤ　ＤＩＳＰ」メニュー

「1．SYSTEM」メニューで「ID DISP」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。



画面に最大 12 文字までの ID（任意の文字列）を表示すること、電子増感倍率の表示を行うことができます。各設定内容は下記の通りです。

[OFF]　：ID 及び電子増感倍率の表示設定を行いません。

[ID]　：ID のみ画面に表示させたい場合選択します。

[GAIN]　：電子増感倍率のみ画面に表示させたい場合選択します。

[ID&GAIN]：ID 及び電子増感倍率を画面に表示させたい場合選択します。

スイッチ説明

ＵＰ　：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ID」→「GAIN」→「ID＆GAIN」→「OFF」・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ID＆GAIN」→「GAIN」→「ID」→「OFF」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：「OFF」表示時、設定を記憶し「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ
「ID」表示時、設定を記憶し「ID」メニューに遷移します。→30ページへ
「GAIN」表示時、設定を記憶し「GAIN」メニューに遷移します。→31ページへ
「ID＆GAIN」表示時、設定を記憶し「ID＆GAIN」メニューに遷移します。→31ページへ

「ＩＤ」メニュー

「ID DISP」メニューで「ID」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```
  ＰＲＥＳＥＴＡＢＬＥ    ＯＮ
▶ＩＤ　ＤＩＳＰ          ＩＤ      ＳＥＴ
  ＳＥＲＩＡＬ           ＊＊＊＊＊ＢＰＳ
```

IDの表示内容、表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

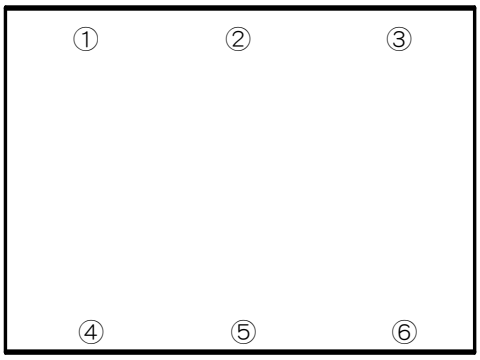
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を、ボタン押下毎に「ID」→「SET」→「ID」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「ID」反転時、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ

「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。→32ページへ

[文字表示機能について]

- CIT-7620 では１２桁のカメラ ID 表示（画面上に任意の文字列を表示すること）及び、電子増感倍率表示の選択が可能で、表示位置は 6 カ所（上部左[①]、上部中央[②]、上部右[③]、下部左[④]、下部中央[⑤]、下部右[⑥]）から選択できます。



「ＧＡＩＮ」メニュー

「ID DISP」メニューで「GAIN」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

電子増感倍率の表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

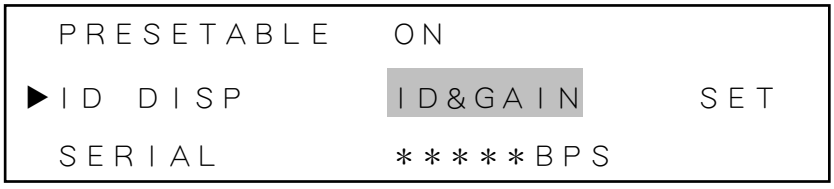
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を、ボタン押下毎に「GAIN」→「SET」→「GAIN」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「GAIN」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ

「SET」反転時、「GAIN PLACE」項目に遷移します。→34ページへ

「ＩＤ＆ＧＡＩＮ」メニュー

「ID DISP」メニューで「ID &GAIN」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



IDの表示内容、表示位置、電子増感倍率の表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「ID&GAIN」→「SET」→「ID&GAIN」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「ID&GAIN」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ

「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。→32ページ

「ＩＤ　ＳＥＴ」項目

「ID」、「ID&GAIN」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊部に設定した文字列（ＩＤ）の表示を行います（最大１２文字）。

スイッチ説明

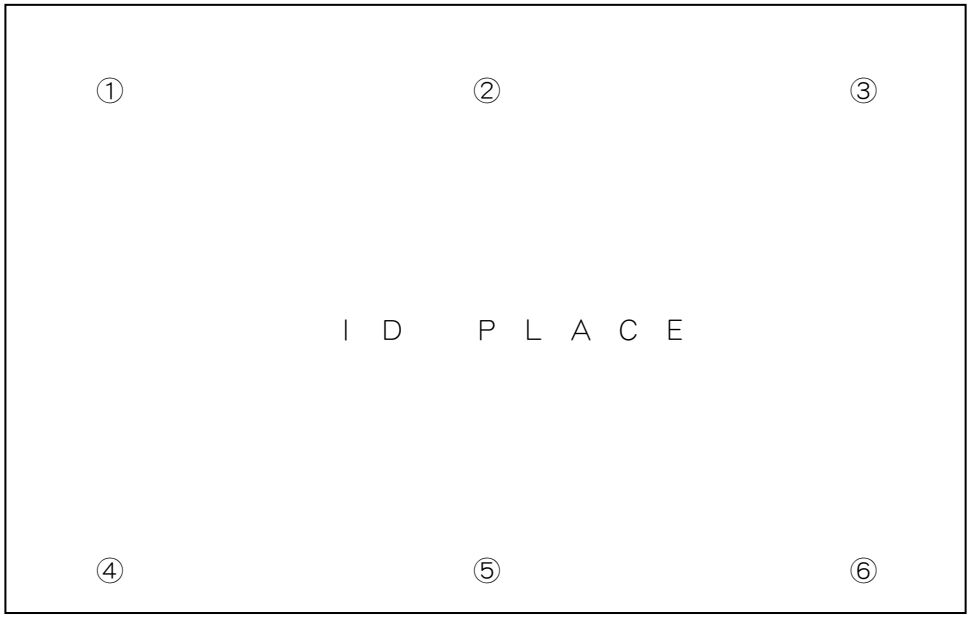
ＵＰ　　：反転文字が右へ遷移します。右端の場合は、左端へ遷移します。

ＤＯＷＮ：反転文字が下へ遷移します。下端の場合は、「終」へ遷移します。
　　「終」の場合は、上端へ遷移します。

ＭＯＤＥ：選択文字が「◁」の場合は、ＩＤ表示の反転部が１つ左へ遷移します。
　　：選択文字が「▷」の場合は、ＩＤ表示の反転部が１つ右へ遷移します。
　　：選択文字が「消」の場合は、ＩＤ表示の文字を全て空欄にします（オールクリア）。
　　：選択文字が「終」の場合は、「ID PLACE」項目に遷移します。→33ページ
　　：選択文字が上記以外の場合は、選択している文字をＩＤ表示の反転部に表示し、
　　ＩＤ表示の反転部が１つ右に遷移します。

「ＩＤ　ＰＬＡＣＥ」項目

「ID SET」項目で“終”を選択すると、下記の画面が表示されます。



ＩＤの表示位置を設定します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ＩＤ表示位置を･･･→①→②→③→④→⑤→⑥→①→・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：ＩＤ表示位置を･･･→①→⑥→⑤→④→③→②→①→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：本メニューに「ID」メニューから遷移した場合、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。
→24ページへ
「ID&GAIN」メニューから本項目に遷移した場合、「GAIN PLACE」項目に遷移します。
→34ページへ

※ＩＤ表示は、文字の中央位置が①,②,③,④,⑤,⑥の位置に設定されます。

「ＧＡＩＮ　ＰＬＡＣＥ」項目

「GAIN」メニューで「SET」を選択する、または「ID&GAIN」メニューから「ID PLACE」項目にて設定すると、下記画面が表示されます。

電子増感倍率の表示位置を設定します。

注）「ＩＤ　ＰＬＡＣＥ」項目で設定したＩＤ表示位置と重複した位置や、ＩＤ表示位置が①または③の場合②の位置、④または⑥の場合⑤の位置に電子増感倍率表示位置を設定することはできません。

スイッチ説明

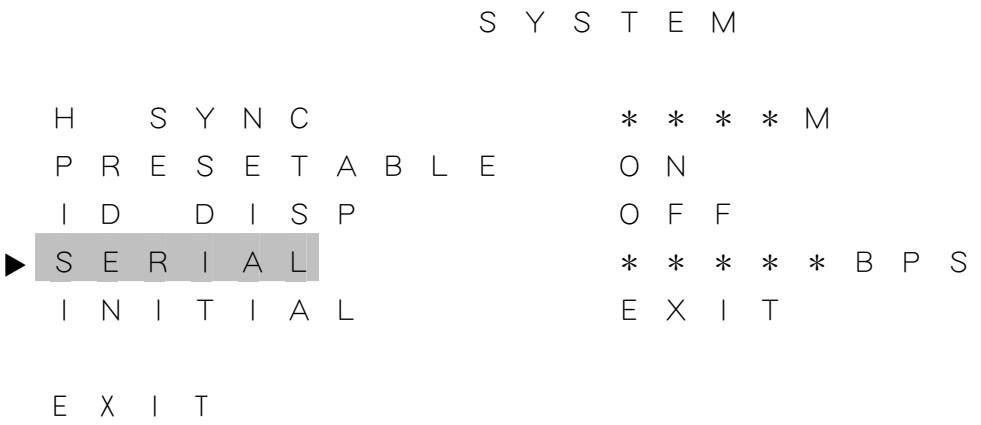
ＵＰ　　：増感倍率表示位置を①→②→③→④→⑤→⑥→①・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：増感倍率表示位置を①→⑥→⑤→④→③→②→①・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：現在の位置を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ

「ＳＥＲＩＡＬ」メニュー

「1. SYSTEM」メニューで「SERIAL」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。



RS-422/RS-232C 通信の通信速度を設定することができます。

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「1200BPS」→「2400BPS」→「4800 BPS」→「9600 BPS」→「19200 BPS」と遷移します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「19200 BPS」→「9600 BPS」→「4800 BPS」→「2400 BPS」→「1200 BPS」と遷移します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶し、「＊＊＊＊＊ＢＰＳ」メニューに遷移します。→36ページへ

注意）

本メニューの設定、電源再投入するまで有効にはなりません。変更したい項目を全て設定した後、最後に一度電源を再投入し正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、再度設定し直してください。

ご使用の専用コントローラもしくはパソコン、シーケンサの通信方式を良くご確認の上、設定を行ってください。誤った設定を行うと、制御が出来なりますのでくれぐれもご注意下さい。

また、本メニュー設定は、SYSTEM メニューのイニシャルセット YES を選択しても初期化されず、設定が保持されます。

「＊＊＊＊＊ＢＰＳ」メニュー

「SERIAL」メニューでモードボタンを選択すると、＊＊＊＊＊ＢＰＳが反転し、右側に「SET」が表示されます。

ＩＤ　ＤＩＳＰ	ＯＦＦ	
▶ＳＥＲＩＡＬ	＊＊＊＊＊ＢＰＳ	ＳＥＴ
ＩＮＩＴＩＡＬ	ＥＸＩＴ	

RS-422/RS-232C 通信の詳細を設定したい場合、「SET」を選択します。

ＵＰ　　：反転表示をボタン押下毎に、「ＳＥＴ」→「＊＊＊＊＊BPS」→「ＳＥＴ」・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：反転表示をボタン押下毎に、「ＳＥＴ」→「＊＊＊＊＊BPS」→「ＳＥＴ」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：「＊＊＊＊＊BPS」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ

「SET」反転時、「SERIAL SET」メニューに遷移します。→37ページへ

「ＳＥＲＩＡＬ　ＳＥＴ」メニュー

「SERIAL　SET」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
                S E R I A L    S E T

▶ C A M E R A . N O          * * *
  D A T A                    8 B I T
  P A R I T Y                N O N E


  E X I T
```

RS-422/RS-232C 通信時のカメラ NO.、データ形式、パリティビットの設定を行います。
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→24ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

CAMERA NO. ：38ページ
DATA　：38ページ
PARITY：38ページ

「ＣＡＭＥＲＡ　ＮＯ.　」項目

RS-422/RS-232C 通信時のカメラ NO.を設定します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に 1→254 まで 1 ずつ（連続時 4 ずつ）UP します。
（254 を超えると 1 に戻ります。）
※コントローラ U-6040+R-2200 使用時のみ、ボタン連続押下時 4 ずつ UP します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に 254→1 まで 1 ずつ（連続時 4 ずつ）DOWN します。
（1 を超えると 254 に戻ります。）
※コントローラ U-6040+R-2200 使用時のみ、ボタン連続押下時 4 ずつ DOWN します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶し、「SERIAL SET」メニューに戻ります。→37ページへ

「ＤＡＴＡ」項目

RS-422/RS-232C 通信時のデータ形式を設定します。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に・・・→「7BIT」→「8BIT」→「7BIT」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶し、「SERIAL SET」メニューに戻ります。→37ページへ

「ＰＡＲＩＴＹ」項目

RS-422/RS-232C 通信時のパリティビットを設定します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に・・・→「ODD」→「EVEN」→「NONE」→「ODD」→・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に・・・→「ODD」→「NONE」→「EVEN」→「ODD」→・・・と遷移します。

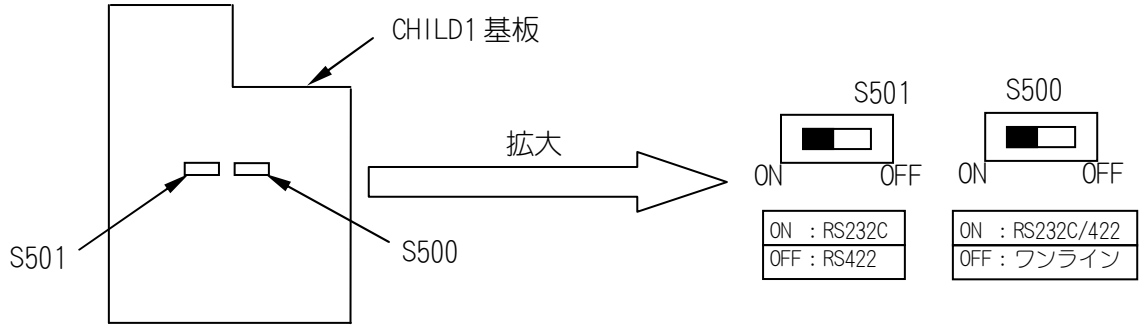
ＭＯＤＥ：設定値を記憶し、「SERIAL SET」メニューに遷移します。→37ページへ

［ＳＥＲＩＡＬ設定について］

■ SERIAL 設定は、通信設定が RS-422/RS-232C の時のみ有効です。

「1.SYSTEM」メニューで「INITIAL」を選択します。

■ 通信設定は、カメラ背面パネルを開けて、CHILD1 基板のスイッチを ON に設定することで行います。
CHILD1 基板の S500 を ON に設定すると RS-422/RS-232C、OFF に設定するとワンラインになります。
CHILD1 基板の S501 を ON に設定すると RS-232C、OFF に設定すると RS-422 になります。



（注意）故障の原因となりますので、カメラ背面パネルの開閉を伴う設定の変更は、お求めの販売店にご相談ください。

「ＩＮＩＴＩＡＬ」メニュー

「START」選択で、「4.SCENE FIT」メニューで現在選択されているシーンの「2.Y CONTROL」「3.COLOR」の設定内容を工場出荷時設定（P.20）に初期化します。
USER1～USER4 が選択されている場合は工場出荷設定に、その他のシーンが選択されているときは、各シーンの初期値（P.22）に戻します。
注）「4.SCENE FIT」メニューで、現在選択されているシーン以外の設定内容は初期化されません。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：「EXIT」の表示を、ボタン押下毎に「EXIT」→「START」→「EXIT」･･･と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「START」表示時、メニュー各設定値をクリアして「1.SYSTEM」メニューに戻ります。
「EXIT」表示時、何も処理せずに「1.SYSTEM」メニューに戻ります。
→24ページへ

「2. Y CONTROL」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「2.Y CONTROL」を選択したとき下記画面が表示されます。

```
                Y  CONTROL

▶ IRIS SEL          NORMAL
  GAIN SEL          AGC
  GRADATION         NORMAL
  FLICKER           OFF
  DETAIL          L ◁ ◁ ◁ ◁ ◁ − ▷ ▷ ▷ ↓ ▷ H

  EXIT
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

IRIS SEL：41ページ
GAIN SEL：48ページ
GRADATION：63ページ
FLICKER ：67ページ
DETAIL ：68ページ

「ＩＲＩＳ　ＳＥＬ」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「IRIS SEL」を選択します。

アイリスの設定を行います。

[NORMAL]：標準の撮像条件です。画面全体の平均光量により明るさが制御されます。

[SPOT]　：逆光条件、過順光の時使用します。次メニューで設定した測光枠内の信号レベルが最適になるようアイリス、AGC 等が制御されます。

[PEAK]　：ピーク測光機能が有効になり、部分的に明るい所が見やすくなるように明るさが制御されます。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「NORMAL」の表示が、ボタン押下毎に、・・・→「SPOT」→「PEAK」→「NORMAL」→・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：「NORMAL」の表示が、ボタン押下毎に、・・・→「PEAK」→「SPOT」→「NORMAL」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ
「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。→41ページへ
「PEAK」表示時、設定を記憶し「PEAK」メニューに遷移します。→45ページへ

[ＩＲＩＳ　ＳＥＬ機能について]

- 画素加算機能が自動制御(（PIXADD1 メニューの「MODE」項目が AUTO）かつ低照度環境(約 30lx 以下)時は、IRIS SEL 機能は動作しません。ハンチングや白とびが発生する場合もありますので、NORMAL に設定して下さい。
- 低照度環境下で IRIS SEL 機能を使用する場合は、画素加算機能を OFF に設定して下さい。→119 ページ参照

「ＳＰＯＴ」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

逆光補正用測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

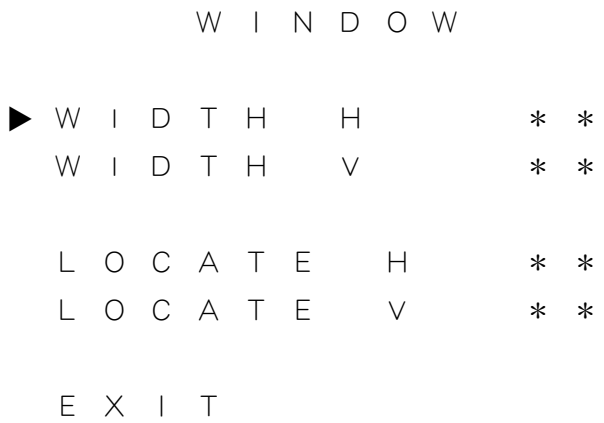
スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「SPOT」→「SET」→「SPOT」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「SPOT」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ
「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。→42ページへ

「ＷＩＮＤＯＷ」メニュー

「SPOT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されます。



各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。詳しくは、「逆光補正用測光枠について（P.44）」をご参照ください。

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H：43ページ
WIDTH V：43ページ
LOCATE H：43ページ
LOCATE V：43ページ

「ＷＩＤＴＨ　Ｈ」項目

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ＷＩＤＴＨ　Ｈの＊＊が１→１５まで変化します。

ＤＯＷＮ：ＷＩＤＴＨ　Ｈの＊＊が１５→１まで変化します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→42ページへ

「ＷＩＤＴＨ　Ｖ」項目

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ＷＩＤＴＨ　Ｖの＊＊を１→１５まで変化します。

ＤＯＷＮ：ＷＩＤＴＨ　Ｖの＊＊を１５→１まで変化します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→42ページへ

「ＬＯＣＡＴＥ　Ｈ」項目

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ＬＯＣＡＴＥ　Ｈの＊＊を１→１５まで変化します。

ＤＯＷＮ：ＬＯＣＡＴＥ　Ｈの＊＊を１５→１まで変化します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→42ページへ

「ＬＯＣＡＴＥ　Ｖ」項目

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

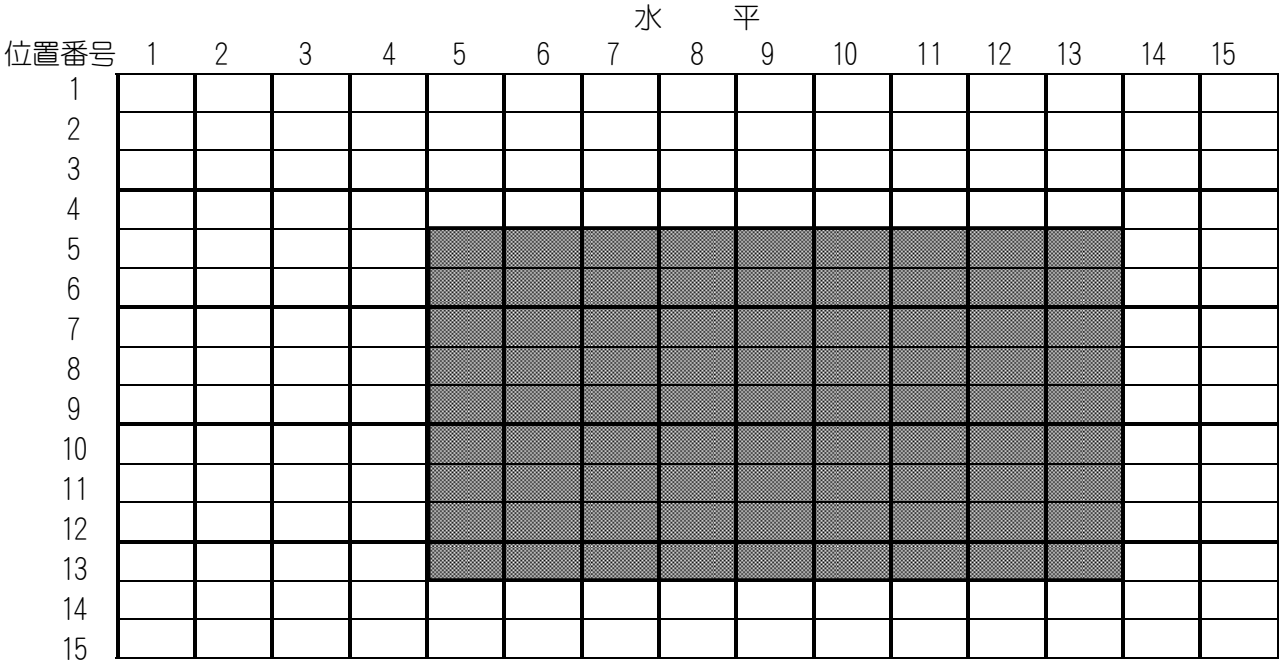
ＵＰ　　：ＬＯＣＡＴＥ　Ｖの＊＊を１→１５まで変化します。

ＤＯＷＮ：ＬＯＣＡＴＥ　Ｖの＊＊を１５→１まで変化します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→42ページへ

［逆光補正用測光枠について］

■ 逆光補正用の測光枠は画面上の１５（水平）Ｘ１５（垂直）に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「ＷＩＤＴＨ」では測光枠の右下角を移動して大きさを、「ＬＯＣＡＴＥ」では測光枠の左上角を移動して測光枠の位置を設定します。
測光枠設定例（画面上にはマスや位置番号は表示されません。）



設定エリア　：　（画面上では明るく表示されます。）
例　　：サイズ設定（水平、垂直）　＝　（９，９）
　　位置設定（水平、垂直）　＝　（５、５）

※設定項目「ＷＩＤＴＨ」、「ＬＯＣＡＴＥ」設定中は、設定値の増減と連動して設定エリアが明るく表示されます。

「ＰＥＡＫ」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「PEAK」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

ピーク測光の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ　：反転表示を「PEAK」→「SET」→「PEAK」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「PEAK」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ

「SET」反転時、「PEAK SET」メニューに遷移します。→46ページへ

「ＰＥＡＫ　ＳＥＴ」メニュー

「PEAK」メニューで「SET」を選択したとき、下記画面が表示されます。

各項目にてピーク測光の設定をします。

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

BRIGHT REV：47ページ
DARK REV：47ページ

「ＢＲＩＧＨＴ　ＲＥＶ」メニュー

「PEAK SET」メニューで「BRIGHT REV」を選択します。

ピーク測光の効果を設定します。
H方向で部分的に明るい所がより暗く（ピーク測光の効果が強く）なるように制御します。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「PEAK SET」メニューに戻ります。→46ページ

注）本設定をH方向に大きく設定した場合、アイリス動作がハンチングを起こす場合があります。

「ＤＡＲＫ　ＲＥＶ」メニュー

「PEAK SET」メニューで「DARK REV」を選択します。

ピーク測光時の暗い所の映像補正量を設定します。
ピーク測光時は部分的に明るい所を見えるように制御するため、暗い部分は逆に見づらくなります。このため、部分的に明るい被写体を撮影していると判断したときに、暗い部分の映像を持ち上げる補正処理を入れています。H方向で暗い所の映像がより明るくなるように補正をかけます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「PEAK SET」メニューに戻ります。→46ページ

注）本設定をH方向に大きく設定した場合、暗い部分の映像にノイズが目立つ場合があります。

「ＧＡＩＮ　ＳＥＬ」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「GAIN SEL」を選択します。

ゲインの値を自動で変化させるか手動で調整するかを選択することができます。
[AGC]:明るさに応じてゲインの値が自動的に変化します。
[MGC]:ゲインの値を手動で調整します。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：「AGC」の表示を、ボタン押下毎に「AGC」→「MGC」→「AGC」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「MGC」表示時、設定を記憶し「MGC」メニューに遷移します。→48ページ
「AGC」表示時、設定を記憶し「AGC」メニューに遷移します。→54ページ

「ＭＧＣ」メニュー

「GAIN SEL」メニューで「MGC」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

ＩＲＩＳ　ＳＥＬ	ＮＯＲＭＡＬ	
▶ＧＡＩＮ　ＳＥＬ	ＭＧＣ	ＳＥＴ
ＢＷ／ＣＯＬＯＲ	ＣＯＬＯＲ	

ＭＧＣの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

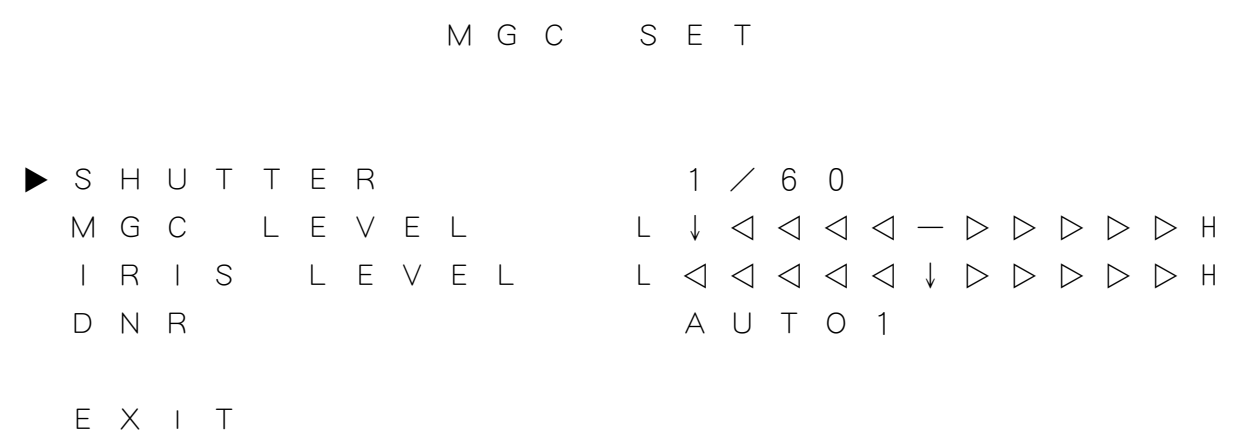
スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「MGC」→「SET」→「MGC」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「MGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ
「SET」反転時、「MGC SET」メニューに遷移します。→49ページ

「MGC　SET」メニュー

「MGC」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



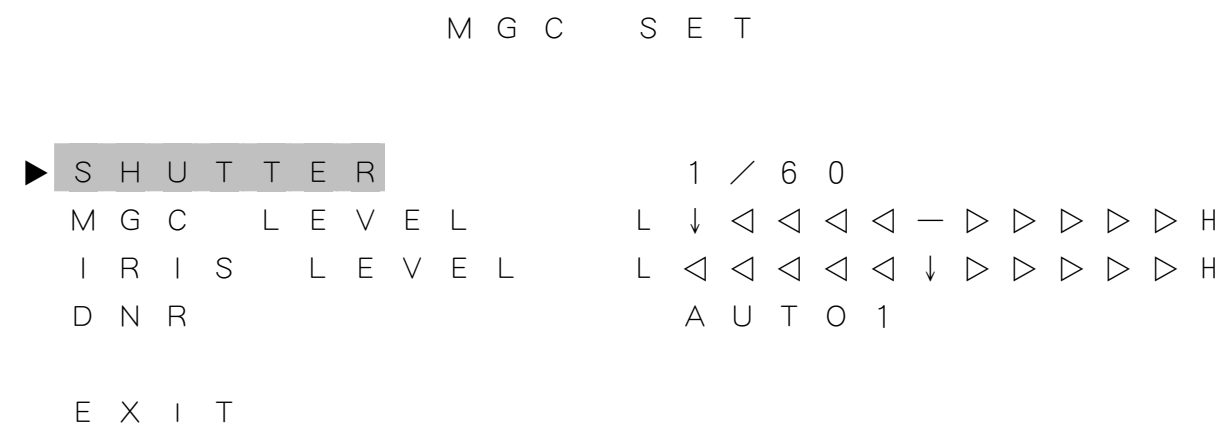
UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。
この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→40ページへ
UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SHUTTER　：50ページ
MGC LEVEL ：52ページ
IRIS LEVEL：52ページ
DNR　　：53ページ

「ＳＨＵＴＴＥＲ」項目

「MGC SET」メニューで「SHUTTER」を選択します。



電子増感倍率またはシャッタ速度を設定します。×2～×160 までは電子増感倍率、1/60～1/10000 まではシャッタ速度の設定となります。

スイッチ説明

ＵＰ　：「1/60」の表示が、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「×160」→「×80」→「×40」→「×20」→「×16」→「×14」→「×12」→「×10」→「×8」→「×6」→「×4」→「×2」→「1/60」→「1/100」→「1/250」→「1/500」→「1/1000」→「1/2000」→「1/4000」→「1/10000」

ＤＯＷＮ：「1/60」の表示が、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「1/10000」→「1/4000」→「1/2000」→「1/1000」→「1/500」→「1/250」→「1/100」→「1/60」→「×2」→「×4」→「×6」→「×8」→「×10」→「×12」→「×14」→「×16」→「×20」→「×40」→「×80」→「×160」

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「MGC SET」メニューに戻ります。→49ページ

［高速シャッタについて］

■ 高速シャッタを使用する場合は下記の注意が必要です。

（1）シャッタ速度が速くなるほど充分な光量を必要とします。（相対的な感度が低下します。）
（2）50Hz 電源地区における放電灯照明下でフリッカが気になる場合は、1/100 ｓシャッタを選択することでもフリッカを抑圧できます。
注）ＭＧＣ設定時はフリッカキャンセル機能をＯＮにすることができませんので、1/100 ｓシャッタを利用してください。
（3）50Hz 電源地区における放電灯照明下または高周波点灯照明下では 1/250 ｓ以上の高速シャッタは激しいフリッカを発生しますので注意ください。
（4）高輝度被写体に対して露出調節のために超高速シャッタで長期間使用することはお避けください。CCD のカラーフィルタの退色により色再現性が劣化する場合があります。
（5）60Hz 電源地区における放電灯照明下で高速シャッタを使用しますとゆっくりとした光量変化を生じます。このため画面に周期的な S/N の変動および色の変化が発生しますのでご注意ください。

［手動電子増感機能について］

■ 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60 ｓ以上の低速シャッタ制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
■ CIT-7620 では、標準時(シャッタスピード 1/60 ｓ)に対して×1 倍から×160 倍まで手動で感度アップを行うことができます。

電子増感動作時は下記の注意が必要です。

（１）動きのある被写体は、感度がアップするほどぶれを生じます。
（２）増感動作時、レンズ絞りは開放に固定されますので、アイリス調整は出来ません。太陽の光は見ないでください。撮像素子が焼きつくことがあります。
（３）増感倍率が高いときにはノイズが目立つ場合があります。また、周囲温度が高く、増感倍率×１６倍以上のときには、ＣＣＤの固定パターンノイズ（画面の一定位置に点として見えるノイズ）が目立つ場合があります。
（４）手動電子増感設定などで画面を明るくしすぎた場合、コントローラの電源をＯＮ／ＯＦＦすると同期がかかりにくくなることがあります。

「ＭＧＣ　ＬＥＶＥＬ」項目

「MGC SET」メニューで「MGC LEVEL」を選択します。

ゲインの設定を行うことができます。Ｈ側でゲインが大きく、Ｌ側でゲインが小さくなります。

注）ゲインを大きく設定すると、被写体によっては画像がハンチングを起こす場合があります。
　　ゲインを小さく設定すると、暗い時に映像が見づらい場合があります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：Ｈ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。→49ページへ

「ＩＲＩＳ　ＬＥＶＥＬ」項目

「MGC SET」メニューで「IRIS LEVEL」を選択します。

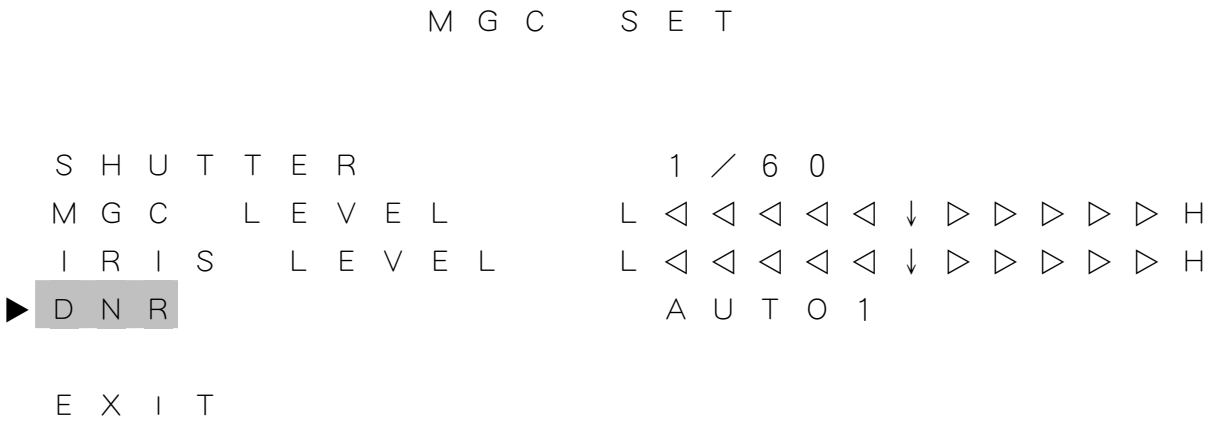
画面の明るさを調整することができます。
Ｈ方向で画面が明るくなり、Ｌ方向画面が暗くなります。

注）IRIS LEVEL 設定がＬかＨに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかったり、画面がハンチングを起こしたりする場合があります。また、急激に光量が変化したときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：Ｈ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。→49ページへ

「ＤＮＲ」項目

「MGC SET」メニューで「DNR」を選択します



通常は AUTO 1で使用してください。使用詳細は下記の[デジタルノイズリダクションについて]を参照し、最適の状態を設定してください。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「AUTO 1」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO 1」→「AUTO 2」→「LOW」→「MIDDLE」→「HIGH」→「OFF」→「AUTO 1」・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：「AUTO 1」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO 1」→「OFF」→「HIGH」→「MIDDLE」→「LOW」→「AUTO 2」→「AUTO 1」・・・と遷移します。

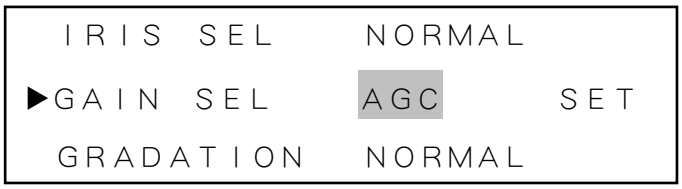
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「MGC SET」メニューに戻ります。→49ページへ

[デジタルノイズリダクションについて]

- カメラ映像ノイズには固定パターンノイズとランダムノイズがあります。デジタルノイズリダクション（以下ＤＮＲ）はゲインアップをおこなった際に生じるランダムノイズの低減を行います。レベルは LOW→MIDDLE→HIGH の順でランダムノイズの低減レベルが上がって行きます。
- ＤＮＲ動作時は次の注意が必要です。
  低減レベルを上げるほど（HIGH にするほど）、垂直解像度が若干悪くなります。
  また、動きのある被写体は低減レベルを上げるほど（HIGH にするほど）、映像にぶれを生じます。
- 「AUTO1」はノイズの発生量に応じて低減レベルを自動的に調節します。「AUTO2」は「AUTO1」より動きのある被写体に対して映像がぶれやすくなっていますが、ＤＮＲの効果は大きくなります。

「ＡＧＣ」メニュー

「GAIN SEL」メニューで「AGC」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



ＡＧＣの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

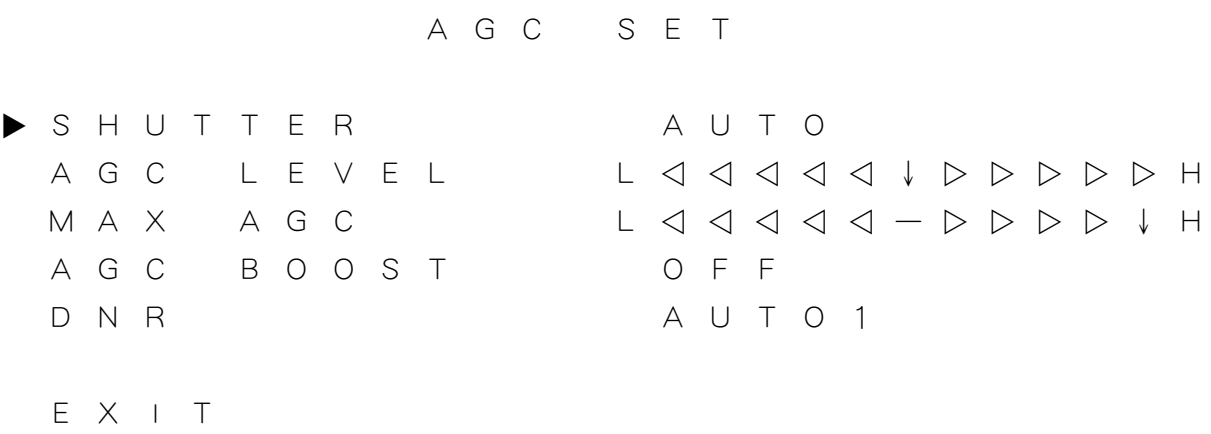
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「AGC」→「SET」→「AGC」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「AGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ

「SET」反転時、「AGC SET」メニューに遷移します。→55ページへ

「ＡＧＣ　ＳＥＴ」メニュー

「AGC」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



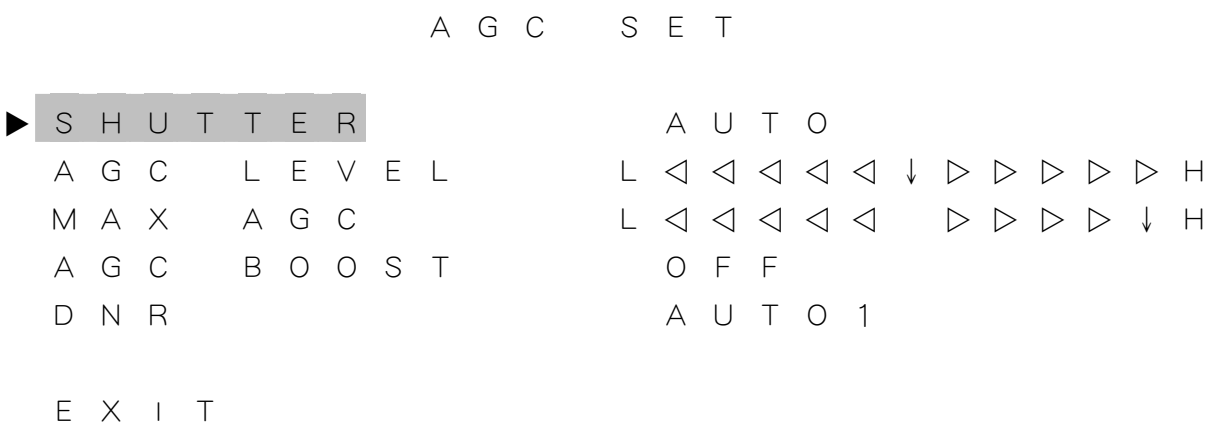
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。
この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→40ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SHUTTER　：56ページ
AGC LEVEL：60ページ
MAX AGC　：61ページ
AGC BOOST：61ページ
DNR　　：62ページ

「ＳＨＵＴＴＥＲ」項目

「AGC SET」メニューで「SHUTTER」を選択します。



ＡＧＣ時、電子増感またはシャッタ速度を選択します。自動電子増感を設定する場合、「AUTO」を選択してください。

スイッチ説明

ＵＰ　：「AUTO」の表示が、ボタン押下毎に「×160」→「×80」→「×40」→「×20」→「×16」→「×14」→「×12」→「×10」→「×8」→「×6」→「×4」→「×2」→「AUTO」→「1/60」→「1/100」→「1/250」→「1/500」→「1/1000」→「1/2000」→「1/4000」→「1/10000」と遷移します。

ＤＯＷＮ：「AUTO」の表示が、ボタン押下毎に「1/10000」→「1/4000」→「1/2000」→「1/1000」→「1/500」→「1/250」→「1/100」→「1/60」→「AUTO」→「×2」→「×4」→「×6」→「×8」→「×10」→「×12」→「×14」→「×16」→「×20」→「×40」→「×80」→「×160」と遷移します。

ＭＯＤＥ：「AUTO」設定時、設定を記憶して「AUTO」メニューに遷移します。→57ページへ
「AUTO」以外設定時、設定を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→55ページへ

［自動電子増感機能について］

- 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60 秒以上の低速シャッタ制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
- CIT-7620 では、下記の特徴があります。

（１）自動電子増感機能
標準時(シャッタスピード 1/60 秒)に対して×1 倍から×160 倍まで自動で感度アップを行うことができます。
（２）自動電子増感最大倍率の設定機能
自動電子増感の最大倍率を 1 倍から 160 倍まで任意に設定できますので､設置状況に応じて感度アップの範囲を設定することができます。

電子増感動作時は下記の注意が必要です。

（１）動きのある被写体は、感度がアップするほど残像を生じます。
（２）自動電子増感時は、MGC 設定になっていても自動的に AGC モードとなります。手動増感時は AGC/MGC の設定は無効です。
（３）自動電子増感設定時に、暗い場所を撮影して電子増感倍率が高くなっている状態から急に明るい場所を撮影すると、しばらくの間映像が真っ白になる場合があります。
（４）カメラ電源立ち上げ後、自動電子増感は増感倍率×１からスタートします。
（５）増感動作時、レンズ絞りは開放に固定されますので、アイリス調整は出来ません。太陽の光は見ないでください。撮像素子が焼きつくことがあります。
（６）増感倍率が高いときにはノイズが目立つ場合があります。また、周囲温度が高く、増感倍率×１６倍以上のときには、ＣＣＤの固定パターンノイズ（画面の一定位置に点として見えるノイズ）が目立つ場合があります。
（７）電子増感倍率が高いときは画面の左上側が白っぽくなることがあります。

「ＡＵＴＯ」メニュー

「SHUTTER」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

自動電子増感の詳細設定を行う場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ　：反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「AUTO」反転時、「AGC SET」メニューに戻ります。→55ページへ
「SET」反転時、「AUTO SET」メニューに遷移します。→58ページへ

「ＡＵＴＯ　ＳＥＴ」メニュー

「AUTO」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

ＡＵＴＯ　ＳＥＴ

▶ＭＡＸ　ＧＡＩＮ　　×４０
×１　ＳＨＵＴＴＥＲ　　１／６０
×１→ＳＬＯＷ　　Ｌ◁◁◁◁◁↓▷▷▷▷▷Ｈ

ＥＸＩＴ

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「AGC SET」メニューに戻ります。→50 ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

MAX GAIN　：59ページ
×1 SHUTTER：59ページ
×1→SLOW　：60ページ

「ＭＡＸ　ＧＡＩＮ」項目

「AUTO SET」メニューで「MAX GAIN」を選択します。

最大電子増感倍率の設定を行います。×２のときは電子増感が最大２倍まで、×１６のときは電子増感が最大１６倍まで動作します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「×40」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「×1」→「×2」→「×4」→「×6」→「×8」→「×10」→「×12」→「×14」→「×16」
→「×20」→「×40」→「×80」→「×160」

ＤＯＷＮ：「×40」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「×160」→「×80」→「×40」→「×20」→「×16」「×14」→「×12」→「×10」
→「×8」→「×6」→「×4」→「×2」→「×1」

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→58ページへ

「×１　ＳＨＵＴＴＥＲ」項目

「AUTO SET」メニューで「×1 SHUTTER」を選択します。

自動電子増感選択時、電子増感倍率 1 倍のときのシャッタ速度の選択を行います。50Hz 地区において放電灯下で FLICKER 設定を ON にしてもフリッカが目立つ場合、FLICKER 設定を OFF にして×1 SHUTTER 設定を 1/100 にしてください。

注）FLICKER 設定が ON の場合、×1 SHUTTER 設定は「1/60」固定となります。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：「1/60」の表示を、ボタン押下毎に・・・→「1/100」→「1/60」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：設定値を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→58ページへ

「×１→ＳＬＯＷ」項目

「AUTO SET」メニューで「×1→SLOW」を選択します。

電子増感に入る条件を設定することができます。H方向で電子増感に入りにくくなり、L方向で電子増感に入りやすくなります。電子増感は動く被写体に対してぶれを生じますが、S/N、感度は改善されます。自動電子増感を動き重視で行いたい場合はH側、S/N 重視で行いたい場合はL側に設定してください。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：L方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→58ページ

「ＡＧＣ　ＬＥＶＥＬ」項目

「AGC SET」メニューで「AGC LEVEL」を選択します。

画面の明るさを調整することができます。
H方向で画面が明るくなり、L方向画面が暗くなります。

注）AGC LEVEL がＬかＨに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかったり、画面がハンチングを起こしたりする場合があります。また、急激に光量が変化したときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：L方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。→55ページへ

「ＭＡＸ　ＡＧＣ」項目

「AGC SET」メニューで「MAX AGC」を選択します。

最大ゲインレベルの設定を行います。H側で最大ゲインレベルが上がり、Ｌ側で最大ゲインレベルが下がります。最大ゲインレベルが高い場合は画面が明るくなりますが、ノイズが増えます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。→55ページへ

「ＡＧＣ　ＢＯＯＳＴ」項目

「AGC SET」メニューで「AGC BOOST」を選択します。

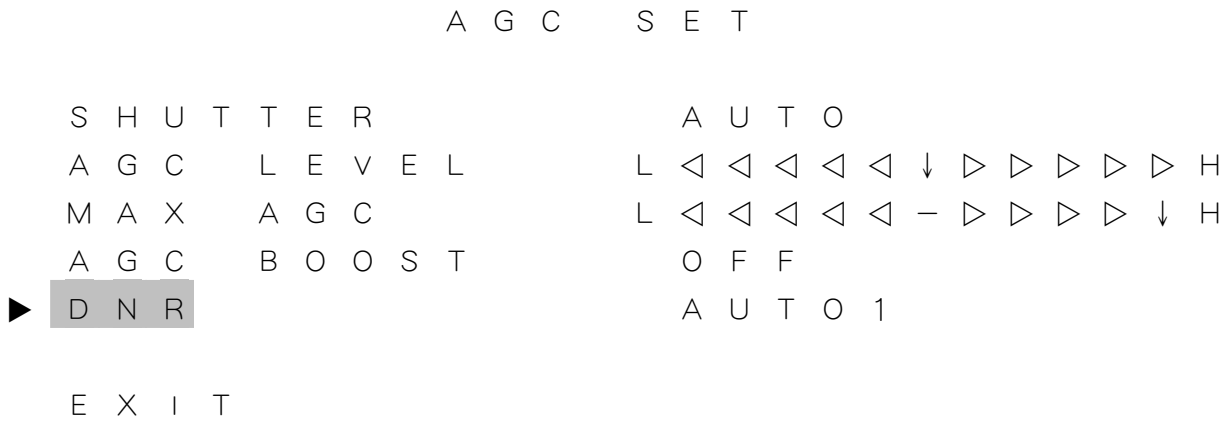
低照度時、最大ゲインをさらに２倍のばすことができます。高感度の必要な場合は＋６ＤＢで使用してください。

注）AGC BOOST を＋６ＤＢに設定すると、低照度時にノイズが目立つ場合があります。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「+6DB」→「OFF」→･･･と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→55ページへ

「ＤＮＲ」項目

「AGC SET」メニューで「DNR」を選択します。



デジタルノイズリダクションの設定を行います。
使用詳細はP.53の[デジタルノイズリダクションについて］ の項を参照し、最適の状態を設定してください。「ＡＵＴＯ１」は動きのある被写体に対して映像ぶれが生じにくくなりますが、ＤＮＲの効果はうすくなる場合があります。「ＡＵＴＯ２」は動きのある被写体に対して映像がぶれやすくなりますが、ＤＮＲの効果は大きくなります。

スイッチ説明

ＵＰ　：「AUTO １」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「AUTO １」→「AUTO ２」→「LOW」→「MIDDLE」→「HIGH」→「OFF」→「AUTO １」→・・・

ＤＯＷＮ：「AUTO １」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「AUTO １」→「OFF」→「HIGH」→「MIDDLE」→「LOW」→「AUTO ２」→「AUTO １」→・・・

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→55ページへ

「ＧＲＡＤＡＴＩＯＮ」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「GRADATION」を選択します。

ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定を行います。
[NORMAL]：ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定固定
[USER]　：ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定を可能とする

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：「NORMAL」の表示を、ボタン押下毎に・・・→「USER」→「NORMAL」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ
「USER」表示時、設定を記憶し「USER」メニューに遷移します。→63ページへ

「ＵＳＥＲ」メニュー

「GRADATION」メニューで「USER」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

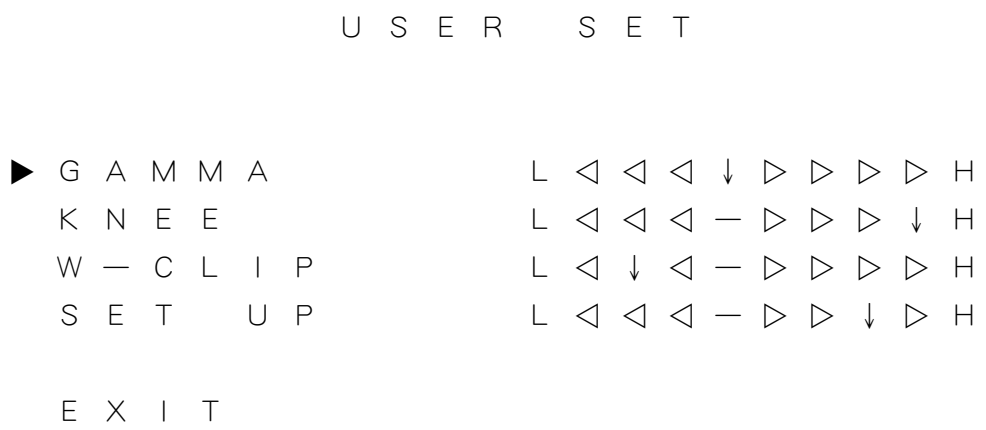
ＧＡＩＮ　ＳＥＬ	ＡＧＣ	
▶ＧＲＡＤＡＴＩＯＮ	ＵＳＥＲ	ＳＥＴ
ＦＬＩＣＫＥＲ	ＯＦＦ	

ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「USER」→「SET」→「USER」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「USER」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ
「SET」反転時、「USER SET」メニューに遷移します。→64ページへ

「ＵＳＥＲ　ＳＥＴ」メニュー

「USER」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。
この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

GAMMA　：65ページ
KNEE　：65ページ
W-CLIP　：66ページ
SET UP　：66ページ

「ＧＡＭＭＡ」項目

「USER SET」メニューで「GAMMA」を選択します。

ガンマの設定を行います。
Ｈ方向に移動させると、画面全体が明るくなる方向に変化します（ガンマ補正が大きくなります）。
Ｌ方向に移動させると、画面全体が暗くなる方向に変化します（ガンマ補正が小さくなります）。
液晶モニタなど、暗部がつぶれやすい表示機をご使用の場合は、ガンマ補正を大きくすることで暗部が見やすくなります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：Ｈ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→64ページへ

「ＫＮＥＥ」項目

「USER SET」メニューで「KNEE」を選択します。

ニーの設定を行います。
Ｈ方向に移動させると、高輝度部の信号圧縮が強くかかります（ニー補正が大きくなります）。
Ｌ方向に移動させると、高輝度部の信号圧縮が弱くかかります（ニー補正が小さくなります）。
ホワイトクリップが小さく設定されている場合、ニー補正を強くかけることで映像の白つぶれをおさえることが出来ます。ホワイトクリップが大きく設定されている場合、ニー補正を弱くすることで高輝度部の階調をはっきり出すことができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：Ｈ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→64ページへ

「W－ＣＬＩＰ」項目

「USER SET」メニューで「W-CLIP」を選択します。

ホワイトクリップの設定を行います。
H方向に移動させると、ホワイトクリップの位置が大きく設定されます。
Ｌ方向に移動させると、ホワイトクリップの位置が小さく設定されます。
ホワイトクリップの位置を大きく設定することで、映像の白つぶれをおさえることができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→64ページへ

注）ホワイトクリップの位置を大きく設定すると、表示装置によっては白つぶれが逆にひどくなったり、
　　場合によっては映像が乱れたり映像が映らなくなる恐れがあります。

「ＳＥＴ　ＵＰ」項目

「USER SET」メニューで「SET UP」を選択します。

セットアップレベル（黒レベル）の設定を行います。
H方向に移動させると、黒が明るく表示されます。
Ｌ方向に移動させると、黒が暗く表示されます。
セットアップレベルを大きくすることで暗い部分の映像を明るく、小さくすることでくっきりとした黒を表示することができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→64ページへ

「ＦＬＩＣＫＥＲ」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「FLICKER」を選択します。

ON 選択で、画面全体のチラツキ（フリッカ）をなくします。詳しくは「フリッカについて」をご参照ください。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ON」→「OFF」→・・・と遷移します。
（MGC 時は「OFF」固定となります）

ＭＯＤＥ　　：設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→40ページへ

［フリッカについて］

フリッカ（ちらつき）は蛍光灯のような放電灯照明下で発生します。自然光下や白熱照明下では発生しません。
フリッカの現象は電源周波数とシャッタ速度により下記のように異なります。

◆ 60Hz 電源地区での場合

1. 1/60 ｓシャッタ
   電源周波数と CCD の電荷蓄積時間がほぼ一致しており、フリッカは発生しません。
2. 高速シャッタの場合
   ゆっくりとした輝度変化が発生します。シャッタ速度が速くなるほど輝度変化の割合は大きくなります。

◆ 50Hz 電源地区での場合

1. 1/60 ｓシャッタ
   約 20Hz 周期のフリッカが発生します。FLICKER 設定を ON にすることで補正することができます。
2. 1/100 ｓシャッタ
   フリッカは発生しません。1/60 ｓシャッタに比較して約半分に感度が低下しますので低照度時にはご注意ください。
3. 1/250 ｓ以上の高速シャッタ
   かなり激しいフリッカが発生します。高速シャッタが必要な場合には自然光または白熱点灯照明をご使用ください。

「ＤＥＴＡＩＬ」メニュー

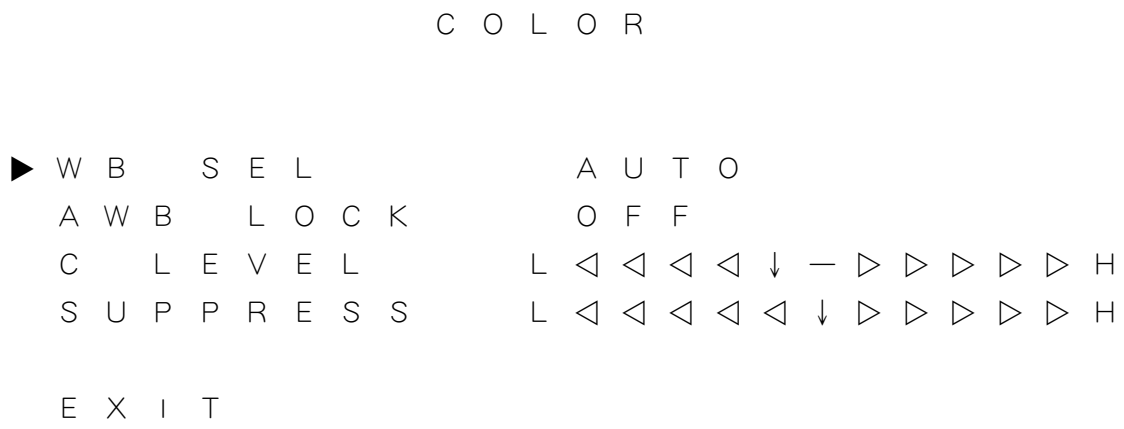
「2.Y CONTROL」メニューで「DETAIL」を選択します。

画質を調整することができます。
L 方向で画質がソフトになり、H 方向で画質がシャープになります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→40ページへ

「3．ＣＯＬＯＲ」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「3.COLOR」を選択したとき、下記の画面が表示されます。



ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。（「WB SEL」メニューで「MANU」を選択している場合、「AWB LOCK」はパスされます。）

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WB SEL　：70ページ
AWB LOCK　：82ページ
C LEVEL　：83ページ
SUPPRESS　：83ページ

「ＷＢ　ＳＥＬ」メニュー

「3.COLOR」メニューで「WB SEL」を選択します。

[AUTO]:自動的にホワイトバランスを合わせます。
[MANU]:手動でホワイトバランスを調整します。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：「AUTO」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO」→「MANU」→「AUTO」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「AUTO」表示時、設定を記憶し「AUTO」メニューに遷移します。→70ページへ
「MANU」表示時、設定を記憶し「MANU」メニューに遷移します。→78ページへ

「ＡＵＴＯ」メニュー

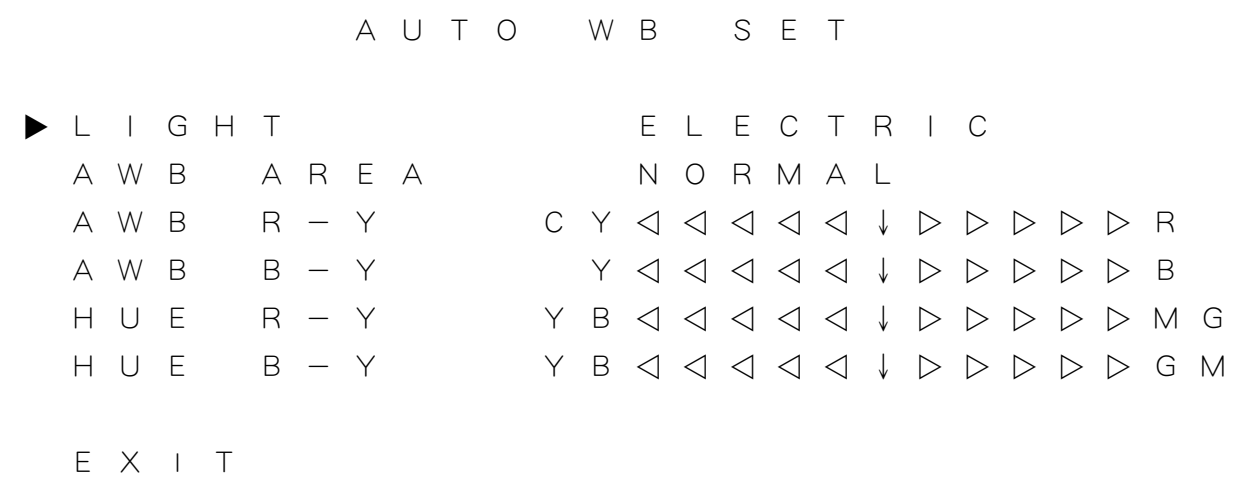
「WB SEL」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

オートホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「AUTO」反転時、「3.COLOR」メニューに戻ります。→69ページへ
「SET」反転時、「AUTO WB SET」メニューに遷移します。→71ページへ

「ＡＵＴＯ　ＷＢ　ＳＥＴ」メニュー

「AUTO」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。
この状態でモードボタンを押すと、「3.COLOR」メニューに戻ります。→69ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

LIGHT　：72ページ
AWB AREA：73ページ
AWB R-Y：76ページ
AWB B-Y：76ページ
HUE R-Y：77ページ
HUE B-Y：77ページ

「ＬＩＧＨＴ」項目

「AUTO WB SET」メニューで「LIGHT」を選択します。

[NATURAL]:自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯 対応。
[ELECTRIC]:上記に加え、水銀灯などまで引き込み範囲を拡大します。
[ALL]　　:引込み範囲の制限がないモードです。

スイッチ説明
ＵＰ　　:「ELECTRIC」の表示が、ボタン押下毎に・・・→「ALL」→「NATURAL」→「ELECTRIC」→・・・と遷移します。
ＤＯＷＮ:「ELECTRIC」の表示が、ボタン押下毎に・・・→「NATURAL」→「ALL」→「ELECTRIC」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ:設定を記憶し「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→71ページへ

[対応照明の選択「ＬＩＧＨＴ」について]

- ［ＮＡＴＵＲＡＬ］は自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯の照明下において最適なホワイトバランスが得られるようにオートホワイトバランスが動作します。引き込み範囲を制限していますので単一色の被写体でも退色現象が少なくなります。
- ［ＥＬＥＣＴＲＩＣ］では、NATURAL の引き込み範囲を水銀灯などまで拡大するとともに、光源の固有スペクトラムにより画面が黄色あるいは緑っぽくなる現象を補正するようにオートホワイトバランスが動作します。
- ［ＡＬＬ］は引込み範囲の制限をなくし、ホワイトバランスが限界まで追従するモードです。

「ＡＷＢ　ＡＲＥＡ」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB AREA」を選択します。

ＡＷＢの測光枠を設定します。

[NORMAL]　:画面全エリアの色情報をもとにＡＷＢが動作します。

[SPOT]　　:次メニューで設定した測光枠内の色情報をもとにＡＷＢが動作します。
あらかじめ白色と分かっている部分にＡＷＢ測光枠を合わせることで、
より高精度なＡＷＢ動作を行うことが出来ます。

スイッチ説明

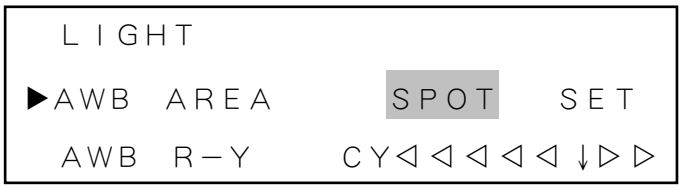
ＵＰ／ＤＯＷＮ：「NORMAL」の表示を、ボタン押下毎に・・・→「SPOT」→「NORMAL」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「NORMAL」表示時、設定を記憶し「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→71ページへ

「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。→73ページへ

「ＳＰＯＴ」項目

「AUTO WB SET」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



ＡＷＢ測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ　：反転表示を「SPOT」→「SET」→「SPOT」→・・・と遷移します。

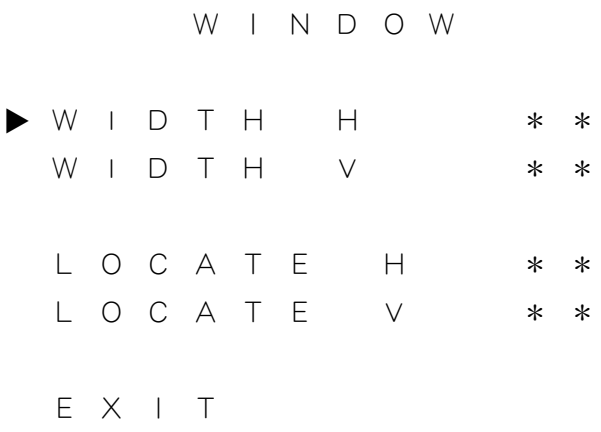
ＭＯＤＥ　　：「SPOT」反転時、「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→71ページへ

「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。→74ページへ

注）ＡＷＢ測光枠の大きさを小さすぎる設定した場合、ＡＷＢ動作が不安定になって色が定まらなくなる場合があります。

「ＷＩＮＤＯＷ」メニュー

「SPOT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されます。



各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→71ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H：75ページ
WIDTH V：75ページ
LOCATE H：75ページ
LOCATE V：75ページ

「ＷＩＤＴＨ　Ｈ」項目

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ＷＩＤＴＨ　Ｈの＊＊が１→１５まで変化します。

ＤＯＷＮ：ＷＩＤＴＨ　Ｈの＊＊が１５→１まで変化します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→74ページへ

「ＷＩＤＴＨ　Ｖ」項目

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ＷＩＤＴＨ　Ｖの＊＊を１→１５まで変化します。

ＤＯＷＮ：ＷＩＤＴＨ　Ｖの＊＊を１５→１まで変化します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→74ページへ

「ＬＯＣＡＴＥ　Ｈ」項目

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ＬＯＣＡＴＥ　Ｈの＊＊を１→１５まで変化します。

ＤＯＷＮ：ＬＯＣＡＴＥ　Ｈの＊＊を１５→１まで変化します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→74ページへ

「ＬＯＣＡＴＥ　Ｖ」項目

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ＬＯＣＡＴＥ　Ｖの＊＊を１→１５まで変化します。

ＤＯＷＮ：ＬＯＣＡＴＥ　Ｖの＊＊を１５→１まで変化します。

ＭＯＤＥ：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→74ページへ

「ＡＷＢ　Ｒ－Ｙ」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB R-Y」を選択します。

Ｒ方向で画面が赤に、ＣＹ方向で画面がシアンに色調が変わります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：Ｒ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：ＣＹ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→71ページへ

「ＡＷＢ　Ｂ－Ｙ」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB B-Y」を選択します。

Ｂ方向で画面が青く、Ｙ方向で画面が黄色に色調が変わります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：Ｂ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｙ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→71ページへ

「ＨＵＥ　Ｒ－Ｙ」項目

「AUTO WB SET」メニューで「HUE R-Y」を選択します。

ＭＧ方向で赤色がマゼンダに、青色が緑色に、色合いが変わります。
ＹＢ方向で赤が黄色に、シアンが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ＭＧ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：ＹＢ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→71ページへ

「ＨＵＥ　Ｂ－Ｙ」項目

「AUTO WB SET」メニューで「HUE B-Y」を選択します。

ＧＭ方向で黄色が緑色に、青色がマゼンダに、色合いが変わります。
ＹＢ方向で緑色が黄色に、マゼンダが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ＧＭ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：ＹＢ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→71ページへ

「ＭＡＮＵ」メニュー

「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

マニュアルホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ　：反転表示が「MANU」→「SET」→「MANU」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「MANU」反転時、「3.COLOR」メニューに戻ります。→69ページへ

「SET」反転時、「MANU WB SET」メニューに遷移します。→79ページへ

「ＭＡＮＵ　ＷＢ　ＳＥＴ」メニュー

「MANU」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。
　この状態でモードボタンを押すと、「3.COLOR」メニューに戻ります。→69ページへ
　ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

MWB R-Y：80ページ
MWB B-Y：80ページ
HUE R-Y：81ページ
HUE B-Y：81ページ

「ＭＷＢ　Ｒ－Ｙ」項目

「MANU WB SET」メニューで「MWB R-Y」を選択します。

Ｒ方向で画面が赤く、Ｂ方向で画面が青く色調が変わります。

スイッチ説明

ＵＰ　　：Ｒ方向に↓が移動します。

ＤＯＷＮ：Ｂ方向に↓が移動します。

ＭＯＤＥ：設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→79ページへ

「ＭＷＢ　Ｂ－Ｙ」項目

「MANU WB SET」メニューで「MWB B-Y」を選択します。

Ｇ方向で画面がグリーンに、Ｍ方向で画面がマゼンダに色調が変わります。

スイッチ説明

ＵＰ　　：Ｇ方向に↓が移動します。

ＤＯＷＮ：Ｍ方向に↓が移動します。

ＭＯＤＥ：設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→79ページへ

「ＨＵＥ　Ｒ－Ｙ」項目

「MANU WB SET」メニューで「HUE R-Y」を選択します。

ＭＧ方向で赤色がマゼンダに、青が緑色に、色合いが変わります。
ＹＢ方向で赤色が黄色に、シアンが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ＭＧ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：ＹＢ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→79ページへ

「ＨＵＥ　Ｂ－Ｙ」項目

「MANU WB SET」メニューで「HUE B-Y」を選択します。

ＧＭ方向で黄色が緑色に、青色がマゼンダに、色合いが変わります。
ＹＢ方向で緑色が黄色に、マゼンダが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ＧＭ方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：ＹＢ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→79ページへ

「ＡＷＢ　ＬＯＣＫ」メニュー

「3.COLOR」メニューで「AWB LOCK」を選択します。

ＯＮ選択で、現在のホワイトバランスの状態を固定します。詳しくは［ホワイトバランスについて］をご参照ください。

注）「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、本メニューはパスされます。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ON」→「OFF」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。→69ページへ

［ホワイトバランスについて］

ホワイトバランス（色調節）は下記の動作モードが選択できます。

［ＡＵＴＯ］：連続自動追従調節　（標準モード）
［ＬＯＣＫ］：自動調節後、固定
［ＭＡＮＵ］：手動調節

- ［ＡＵＴＯ］は自然光のように照明条件（色温度）が時間的に変化するような時に、自動的に色バランスを追従調節します。自然光でなくとも通常の設置条件の場合は自動的に色バランスが得られますので、特に色調節を必要としません。
- オートホワイトバランスは被写体の色成分の平均値を常に監視し、平均値が白になるよう自動制御を行っています。従って単一色の被写体を画面一杯に映した場合、色が退色する（うすくなる）場合があります。このような問題がある場合には画面全体に白被写体を映してオートホワイトバランスを得た後、［ＬＯＣＫ］を選択すると、以後は色パラメータが固定され、被写体の条件に左右されなくなります。この方法は照明条件が変化しない環境において最適な色調節と被写体に左右されないホワイトバランスが簡単に得られる方法です。
- ［ＬＯＣＫ］よりも厳密なホワイトバランスを必要とする場合は、［ＭＡＮＵ］によりベクトルスコープ等の測定器を使用してホワイトバランスを設定してください。この場合は照明条件が変動しないことが条件となります。照明条件が変わった場合は再設定が必要です。
- 特殊な光源（水銀灯など）の場合は色再現性が悪くなる場合があります。
- 電子増感時は、オートホワイトバランスの動作が遅くなります。急激な照明条件の変化があった場合、ホワイトバランスが合うまでに時間がかかることがあります。

「C　ＬＥＶＥＬ」メニュー

「3.COLOR」メニューで「C LEVEL」を選択します。

色の濃さを設定することができます。
H方向で色が濃く、Ｌ方向で色が薄くなります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。→69ページへ

「ＳＵＰＰＲＥＳＳ」メニュー

「3.COLOR」メニューで「SUPPRESS」を選択します。

暗い場所を撮影してカメラの感度が上がった時、色ノイズを低減するため色を自動的に薄くする処理を入れています。H方向で色を薄くする効果が強く、Ｌ方向で色を薄くする効果が弱くなります。

スイッチ説明
ＵＰ　　：H方向に↓が移動します。
ＤＯＷＮ：Ｌ方向に↓が移動します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。→69ページへ

「4. SCENE FIT」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「4.SCENE FIT」を選択すると、下記の画面が表示されます。

S C E N E　F I T

▶ カ セ ン	U S E R 1
ド ウ ロ	U S E R 2
パ ー キ ン グ	U S E R 3
ダ ム	U S E R 4

E X I T

本機能は、撮影場所に応じて各メニュー調整値を最適になるよう記憶しておく機能です。あらかじめ用意されているメニューの設定内容 4 パターン（下記参照）と、さらにユーザが任意に設定した内容を 4 パターン記憶でき、計 8 パターンの設定内容から任意の内容を選択することが可能です。現在の設定シーンの左隣に「▶」マークが表示されます。「カセン」、「ドウロ」、「パーキング」「ダム」は選択後、各設定メニューで変更することもできます（変更された内容は自動的に記憶されます）。また、初期的に「USER1」～「USER4」は、工場出荷時設定が登録されています。「USER1」～「USER4」のいずれかを選択後、各設定メニューで変更すると、その設定値が自動的に記憶されます。変更した内容は、電源を切っても消去されません。設定内容を初期化したい場合は、「INITIAL」メニュー（P.39）で行ってください。「USER1」～「USER4」の表示は、設定によって任意の文字列を 12 文字まで登録可能です。「USER1」～「USER4」メニューで「ID」を選択後、「ID SET」項目で ID を設定してください。

下記のパターンは、それぞれの場所への設置に適しています。

カセン	：河川のように、動きがある被写体かつ、夜間真っ暗になるような場所
ドウロ	：道路のように、ある程度の明るさで動きが激しいような場所
パーキング	：駐車場のように、夜間撮影時に動きのある被写体と、暗い場所が共存するような場所
ダム	：ダムのように、動きが少なく夜間真っ暗になるような場所

スイッチ説明

ＵＰ　：文字の反転表示は以下のように遷移します。

・・・「カセン」→「ドウロ」→「パーキング」→「ダム」→「EXIT」→「USER1」→「USER2」→「USER3」→「USER4」→「EXIT」→「カセン」→・・・

ＤＯＷＮ：文字の反転表示は以下のように遷移します。

・・・→「EXIT」→「ダム」→「パーキング」→「ドウロ」→「カセン」→「EXIT」→「USER4」→「USER3」→「USER2」→「USER1」→「EXIT」→・・・

ＭＯＤＥ：「EXIT」反転表示の場合、メニュー画面を終了します。
文字の反転表示が「カセン」、「ドウロ」、「パーキング」「ダム」のとき、左隣に「▶」マークがない場合、登録されている各設定シーンを読み込んで「▶」マークを表示します（それまで表示されていた「▶」マークは消灯します）。
左側に「▶」マークがある場合、反転表示を「EXIT」に遷移します。
文字の反転表示が「USER1」～「USER4」のとき、左隣に「▶」マークがない場合、設定値を記憶して（登録されている設定内容を読み込んで）「▶」マークを表示します。（それまで表示されていた「▶」マークは消灯します）。左隣に「▶」マークがある場合、以下の「USER＊」メニューに遷移します。

「ＵＳＥＲ＊」メニュー

「4. SCENE FIT」メニューで「USER＊」を選択すると、下記のように右側に「ID」が表示されます。

ＳＣＥＮＥ　ＦＩＴ

カセン	ＵＳＥＲ１	ＩＤ
ドウロ	ＵＳＥＲ２	
パーキング	ＵＳＥＲ３	
ダム	ＵＳＥＲ４	

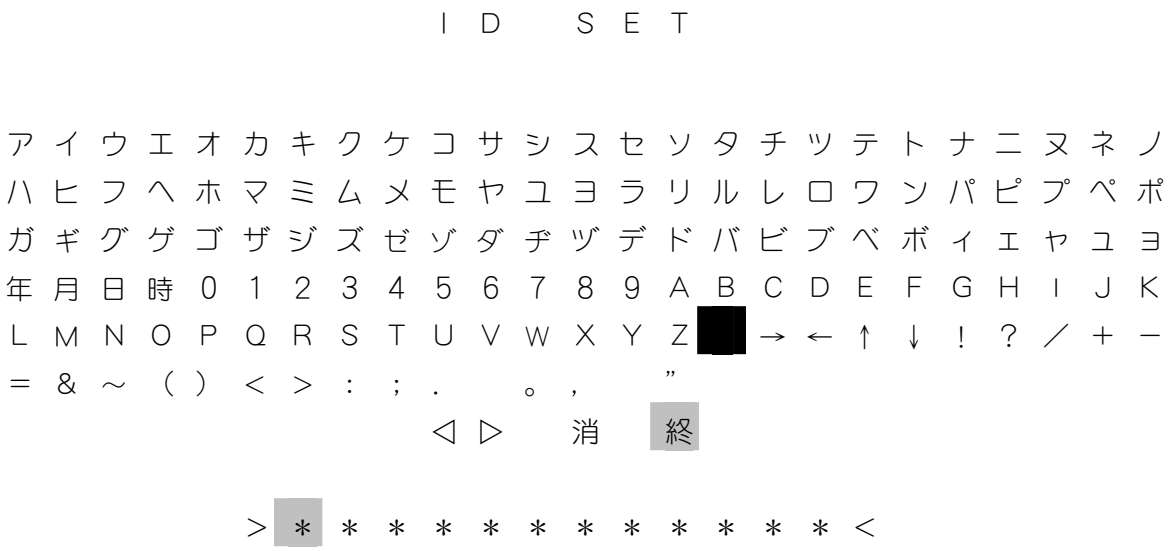
ＥＸＩＴ

IDの表示内容を変更したい場合、「ID」を選択します。尚、「ID SET」項目で登録したIDが「USER*」の位置へ表示されます。（「*」：１～４の数字）

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「USER*」→「ID」→「USER*」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　：「USER*」反転時、現在の設定文字列を記憶して（登録されている設定内容を読み込んで）文字反転表示を「EXIT」に遷移します。（このとき「ID」の表示は消えます）
「ID」反転時、「ID SET」項目に遷移します。（「*」：１～4の数字）→86ページへ

「ＩＤ　ＳＥＴ」項目

「USER＊」メニューで「ID」を選択すると、下記の画面が表示されます。



＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊部に設定した文字列（ＩＤ）の変更を行います（最大１２文字）。

スイッチ説明

ＵＰ　　：反転文字が右へ遷移します。右端の場合は、左端へ遷移します。

ＤＯＷＮ　　：反転文字が下へ遷移します。下端の場合は、「終」に遷移します。
「終」の場合は、上端へ遷移します。

ＭＯＤＥ　　：選択文字が「◁」の場合は、ＩＤ表示の反転部が１つ左へ遷移します。
：選択文字が「▷」の場合は、ＩＤ表示の反転部が１つ右へ遷移します。
：選択文字が「消」の場合は、ＩＤ表示の文字を全て空欄にします（オールクリア）。
：選択文字が「終」の場合は、「USER＊」メニューに戻ります。→85ページへ
（「USER＊」の位置に登録したＩＤが表示されます。）
：選択文字が上記以外の場合は、選択している文字をＩＤ表示の反転部に表示し、
ＩＤ表示の反転部が１つ右に遷移します。

「5．ＰＬＡＴＦＯＲＭ」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「5.PLATFORM」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
                    P L A T F O R M

▶ S P E E D   M O D E          3 S P E E D
  S ／ W   L I M I T           E X I T
  A U T O   S P E E D          E X I T
  S M O O T H   E D I T        1
  S T A R T   U P              N O N E

  E X I T
```

回転台速度、オートパン/チルト速度、スムースプリセット速度、スムースプリセット登録、オート起動に関する設定を行います。

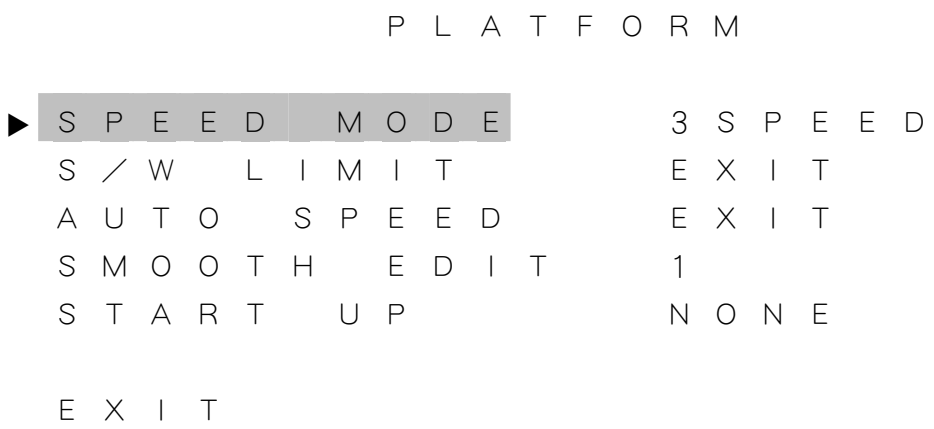
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「ＥＸＩＴ」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SPEED MODE：88ページ
S/W LIMIT ：89ページ
AUTO SPEED：95ページ
SMOOTH EDIT：99ページ
START UP：107ページ

「ＳＰＥＥＤ　ＭＯＤＥ」メニュー

「5.PLATFORM」メニューで「SPEED　MODE」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。



[3SPEED]:3 段階の速度選択が出来ます。
[7SPEED]:7 段階の速度選択が出来ます。

※接続する機器により、機能が制限されます（「接続可能システムについて」17ページ参照）。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、→「7SPEED」→「3SPEED」→「7SPEED」→・・・と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、→「7SPEED」→「3SPEED」→「7SPEED」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「5.PLATFORM」メニューに戻ります。→P.87ページへ

「S／W　LIMIT」メニュー

「5.PLATFORM」メニューで「S/W LIMIT」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

P L A T F O R M

	S P E E D　M O D E	3 S P E E D
▶	S ／ W　L I M I T	E X I T
	A U T O　S P E E D	E X I T
	S M O O T H　E D I T	1
	S T A R T　U P	N O N E
	E X I T	

回転台の回転角度を制限したい場合、SET を選択します。

スイッチ説明
ＵＰ／ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に「SET」→「EXIT」→「SET」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ　　：「SET」表示時、「S/W LIMIT SET」メニューに遷移します。P.90ページへ
「EXIT」表示時、「5.PLATFORM」メニューに戻ります。P.87ページへ

「S／W　LIMIT　SET」メニュー

「PRESETABLE　SET」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

S／W　LIMIT　SET

▶ UP	########
DOWN	########
RIGHT	########
LEFT	########
EXIT	

回転台の上下左右の回転角度を設定します。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「5.PLATFORM」メニューに戻ります。→P.87ページへ
UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
「########」は、該当項目に登録がある場合は「SET OK」、登録がない場合は、「------」と表示します。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

UP：91ページ
DOWN：91ページ
RIGHT：92ページ
LEFT：92ページ

「ＵＰ」項目

「S/W LIMIT　SET」メニューの「ＵＰ」項目でモードボタンを押すと、項目が反転表示し、右側に「SET」が表示されます。

回転台 TILT 位置の上方向リミットを設定します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「ＳＥＴ」表示を、「ＣＬＥＡＲ」→「ＮＯＮＥ」→「ＳＥＴ」→「ＣＬＥＡＲ」・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：「ＳＥＴ」表示を、「ＮＯＮＥ」→「ＣＬＥＡＲ」→「ＳＥＴ」→「ＮＯＮＥ」・・・と遷移します。

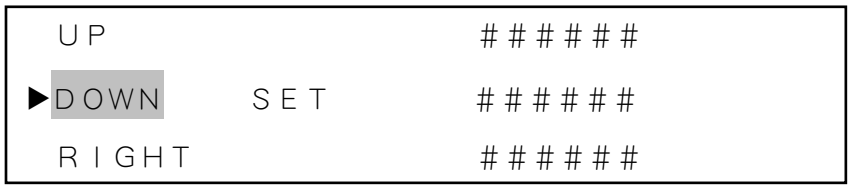
ＭＯＤＥ：「SET」表示時、現在の回転台 TILT 位置を上方向リミット位置として記憶し、「########」の表示を「SET OK」に変更し、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「CLEAR」表示時、現在の上方向リミット位置記憶内容を消去し、「########」の表示を「------」に変更し、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「NONE」表示時、何も処理せずに、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「ＤＯＷＮ」項目

「S/W LIMIT　SET」メニューの「DOWN」項目でモードボタンを押すと、項目が反転表示し、右側に「SET」が表示されます。



回転台 TILT 位置の下方向リミットを設定します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「ＳＥＴ」表示を、「ＣＬＥＡＲ」→「ＮＯＮＥ」→「ＳＥＴ」→「ＣＬＥＡＲ」・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：「ＳＥＴ」表示を、「ＮＯＮＥ」→「ＣＬＥＡＲ」→「ＳＥＴ」→「ＮＯＮＥ」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：「SET」表示時、現在の回転台 TILT 位置を下方向リミット位置として記憶し、「########」の表示を「SET OK」に変更し、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「CLEAR」表示時、現在の下方向リミット位置記憶内容を消去し、「########」の表示を「------」に変更し、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「NONE」表示時、何も処理せずに、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「ＲＩＧＨＴ」項目

「S/W LIMIT　SET」メニューの「RIGHT」項目でモードボタンを押すと、項目が反転表示し、右側に「SET」が表示されます。

回転台 PAN 位置の右方向リミットを設定します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「ＳＥＴ」表示を、「ＣＬＥＡＲ」→「ＮＯＮＥ」→「ＳＥＴ」→「ＣＬＥＡＲ」・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：「ＳＥＴ」表示を、「ＮＯＮＥ」→「ＣＬＥＡＲ」→「ＳＥＴ」→「ＮＯＮＥ」・・・と遷移します。

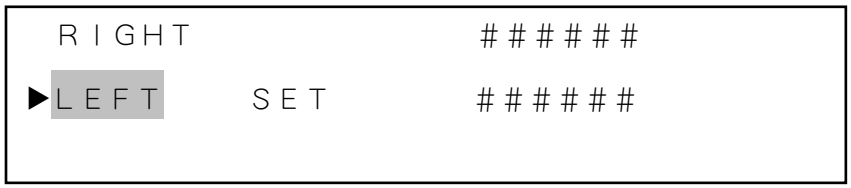
ＭＯＤＥ：「SET」表示時、現在の回転台 PAN 位置を右方向リミット位置として記憶し、「########」の表示を「SET OK」に変更し、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「CLEAR」表示時、現在の右方向リミット位置記憶内容を消去し、「########」の表示を「------」に変更し、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「NONE」表示時、何も処理せずに、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「ＬＥＦＴ」項目

「S/W LIMIT　SET」メニューの「LEFT」項目でモードボタンを押すと、項目が反転表示し、右側に「SET」が表示されます。



回転台 TILT 位置の左方向リミットを設定します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「ＳＥＴ」表示を、「ＣＬＥＡＲ」→「ＮＯＮＥ」→「ＳＥＴ」→「ＣＬＥＡＲ」・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：「ＳＥＴ」表示を、「ＮＯＮＥ」→「ＣＬＥＡＲ」→「ＳＥＴ」→「ＮＯＮＥ」・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：「SET」表示時、現在の回転台 PAN 位置を左方向リミット位置として記憶し、「########」の表示を「SET OK」に変更し、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「CLEAR」表示時、現在の左方向リミット位置記憶内容を消去し、########の表示を「------」に変更し、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

「NONE」表示時、何も処理せずに、「S/W LIMIT SET」メニューに戻ります。→90ページへ

［パン、チルトリミットについて］

回転範囲内に障害物がある場合、またプライバシーのためにカメラを向けたくない場合にお客様独自に回転範囲の制限を設けることができます。パン（水平）方向、チルト（垂直）方向を別々に設定できます。

注意）

プリセットポジション登録は、パン、チルトリミットの設定後に行ってください。
パン、チルトリミットより外側（旋回不可範囲）へプリセットポジションが登録してある場合は、パン、チルトリミットまで移動し、そこで停止します。また、オートパンの動作も正常に行われませんのでご注意ください。
登録位置に回転台を移動してから設定を行ってください。リモートコントローラーR-2450で設定画面を表示しているときは回転台操作ができませんのでご注意ください。

○水平（パン）方向

0°（機械的原点：正面位置）を基準として±180°の範囲で制限範囲を設けることができます。但し、制限範囲内には旋回角度の中心０°が必ず含まれている必要があります。
右回りを＋とした場合、右側リミットは 0°～180°の範囲、左側リミットは 0°～-180°の範囲に設定する必要があります（図１参照）。上記範囲外にリミットを設定しようとした場合、（たとえば図１で左側リミットを+10°に設定した場合等）設定は無効となり、前回の設定値となります。（一度も設定されていない場合は初期値となります。）
本設定を行わない場合は初期値（360°エンドレス回転）となります。

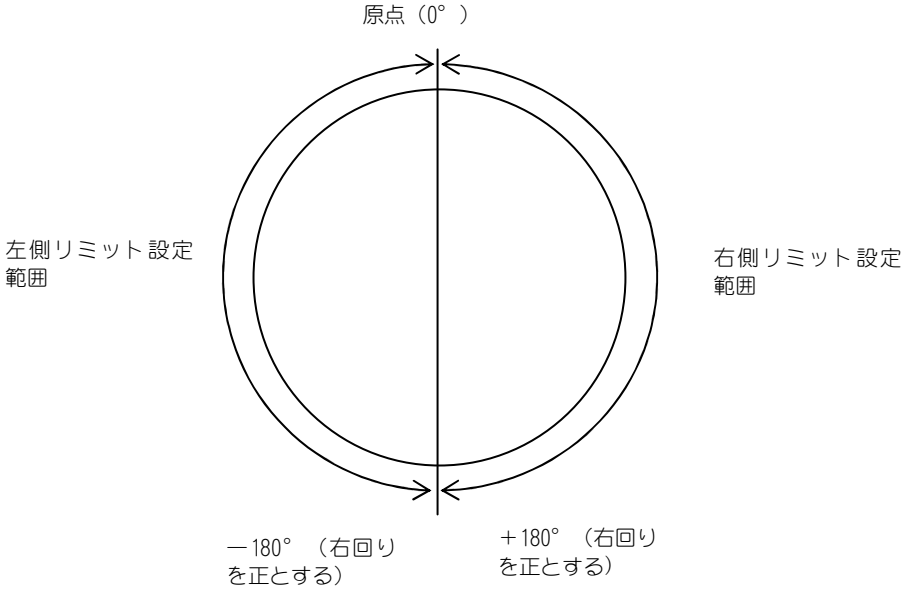


図１：上から見た図

○垂直(チルト)方向

0°（機械的原点：水平位置）を基準として、据置き時：±90°、天吊時：-90°～+70°の範囲で制限範囲を設けることができます。ただし、制限範囲内には旋回角度の中心０°が必ず含まれている必要があります。上側を＋とした場合、上側リミットは 0°～+90°（天吊時は+70°）の範囲、下側リミットは 0°～-90°（天吊時-90°）の範囲に設定する必要があります（図２、３参照）。上記範囲外にリミットを設定しようとした場合、（たとえば図２で下側リミットを+10°に設定した場合等）設定は無効となり、前回の設定値となります。（一度も設定されていない場合は初期値となります。）

本設定を行わない場合は初期値（各最大旋回角度）となります。

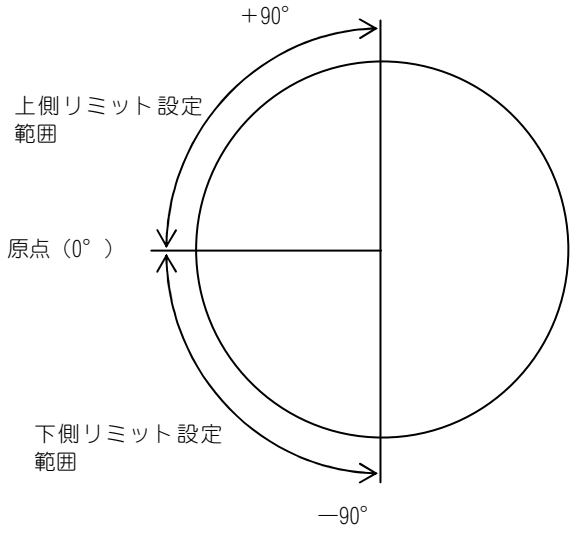


図２：据置き時に横から見た図

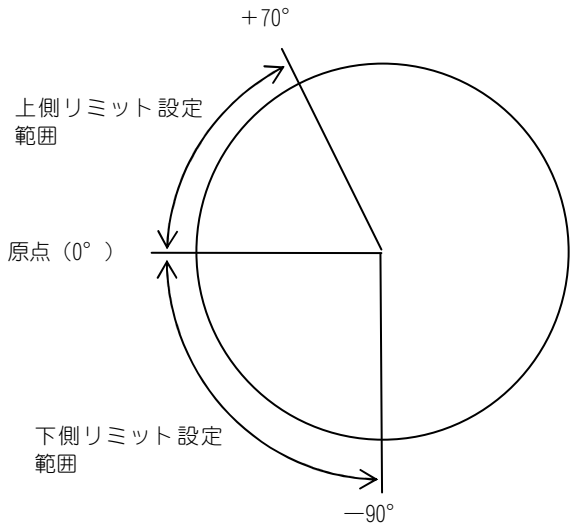


図３：天吊時に横から見た図

「ＡＵＴＯ　ＳＰＥＥＤ」メニュー

「5.PLATFORM」メニューで「AUTO　SPEED」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

ＰＬＡＴＦＯＲＭ

	ＳＰＥＥＤ　ＭＯＤＥ	３ＳＰＥＥＤ
	Ｓ／Ｗ　ＬＩＭＩＴ	ＥＸＩＴ
▶	ＡＵＴＯ　ＳＰＥＥＤ	ＥＸＩＴ
	ＳＭＯＯＴＨ　ＥＤＩＴ	１
	ＳＴＡＲＴ　ＵＰ	ＮＯＮＥ
	ＥＸＩＴ	

各種オート機能の速度を設定したい場合、SET を選択します。

スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、・・・→「ＳＥＴ」→「ＥＸＩＴ」→「ＳＥＴ」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「SET」表示時、「AUTO SPEED SET」メニューに遷移します。→96ページへ

「EXIT」表示時、「5.PLATFORM」メニューに戻ります。→87ページへ

「ＡＵＴＯ　ＳＰＥＥＤ　ＳＥＴ」メニュー

「AUTO　SPEED」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

▶ ＡＵＴＯ　ＰＡＮ　ＳＰＥＥＤ　　４　ＤＥＧ／Ｓ
ＡＵＴＯ　Ｐ／Ｔ　ＳＰＥＥＤ　　４　ＤＥＧ／Ｓ
ＳＭＯＯＴＨ１　ＳＰＥＥＤ　　４　ＤＥＧ／Ｓ
ＳＭＯＯＴＨ２　ＳＰＥＥＤ　　４　ＤＥＧ／Ｓ
ＳＭＯＯＴＨ３　ＳＰＥＥＤ　　４　ＤＥＧ／Ｓ
ＳＭＯＯＴＨ４　ＳＰＥＥＤ　　４　ＤＥＧ／Ｓ
ＳＭＯＯＴＨ５　ＳＰＥＥＤ　　４　ＤＥＧ／Ｓ

ＥＸＩＴ

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。
この状態でモードボタンを押すと、「5.PLATFORM」メニューに戻ります。→69ページへ
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

AUTO PAN SPEED：97ページ
AUTO P/T SPEED：97ページ
SMOOTH1：97ページ
SMOOTH2：97ページ
SMOOTH3：98ページ
SMOOTH4：98ページ
SMOOTH5：98ページ

「ＡＵＴＯ　ＰＡＮ　ＳＰＥＥＤ」項目

「AUTO　SPEED　SET」メニューで「AUTO　PAN　SPEED」を選択すると項目が反転し、オートパン速度の設定ができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「2」→「4」→「8」→「15」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「15」→「8」→「4」→「2」→「1」→「0.5」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→96ページへ

「ＡＵＴＯ　Ｐ／Ｔ　ＳＰＥＥＤ」項目

「AUTO　SPEED　SET」メニューで「AUTO　P/T　SPEED」を選択すると項目が反転し、オートパン/チルト速度の設定ができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「2」→「4」→「8」→「15」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「15」→「8」→「4」→「2」→「1」→「0.5」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→96ページへ

「ＳＭＯＯＴＨ１　ＳＰＥＥＤ」項目

「AUTO　SPEED　SET」メニューで「SMOOTH1　SPEED」を選択すると項目が反転し、スムースプリセット１の速度設定ができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「2」→「4」→「8」→「15」→「MAX」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「8」→「4」→「2」→「1」→「0.5」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→96ページへ

「ＳＭＯＯＴＨ２　ＳＰＥＥＤ」項目

「AUTO　SPEED　SET」メニューで「SMOOTH2　SPEED」を選択すると項目が反転し、スムースプリセット２の速度設定ができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「2」→「4」→「8」→「15」→「MAX」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「8」→「4」→「2」→「1」→「0.5」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→96ページへ

「ＳＭＯＯＴＨ３　ＳＰＥＥＤ」項目

「AUTO　SPEED　SET」メニューで「SMOOTH3　SPEED」を選択すると項目が反転し、スムースプリセット3の速度設定ができます。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「2」→「4」→「8」→「15」→「MAX」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「8」→「4」→「2」→「1」→「0.5」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→96ページへ

「ＳＭＯＯＴＨ４　ＳＰＥＥＤ」項目

「AUTO　SPEED　SET」メニューで「SMOOTH4　SPEED」を選択すると項目が反転し、スムースプリセット4の速度設定ができます。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「2」→「4」→「8」→「15」→「MAX」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「8」→「4」→「2」→「1」→「0.5」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→96ページへ

「ＳＭＯＯＴＨ５　ＳＰＥＥＤ」項目

「AUTO　SPEED　SET」メニューで「SMOOTH5　SPEED」を選択すると項目が反転し、スムースプリセット5の速度設定ができます。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「2」→「4」→「8」→「15」→「MAX」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「8」→「4」→「2」→「1」→「0.5」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→96ページへ

「SMOOTH　EDIT」メニュー

「5.PLATFORM」メニューで「SMOOTH　EDIT」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```
                    P L A T F O R M

    S P E E D    M O D E          3 S P E E D
    S ／ W    L I M I T           E X I T
    A U T O    S P E E D          E X I T
▶   S M O O T H    E D I T        1
    S T A R T    U P              N O N E

    E X I T
```

スムースプリセットの起動番号を選択します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「2」→「3」→「4」→「5」→「1」→「2」→・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「5」→「4」→「3」→「2」→「1」→「5」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：設定を記憶し「SMOOTH　＊　EDIT」メニューに遷移します。

「SMOOTH　＊　EDIT」メニュー

「SMOOTH　EDIT」メニューで起動番号を選択後に MODE スイッチを押すと、右側に「SET」が表示されます。

```
  AUTO  SPEED          EXIT
▶SMOOTH  EDIT          ＊      SET
  START  UP            NONE
```

スムースプリセットを設定したい場合、SET を選択します。

スイッチ説明

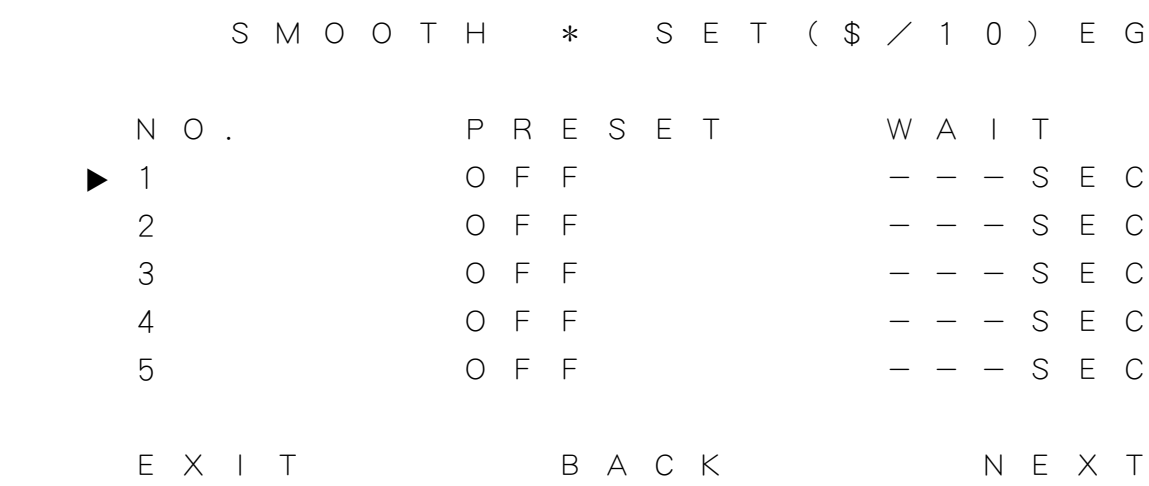
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示を「SET」→「＊」→「SET」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「＊」反転時、「5.PLATFORM」メニューに戻ります。→87ページへ

「SET」反転時、「SMOOTH ＊ SET($/10)」メニューに遷移します。→100ページへ

「ＳＭＯＯＴＨ　＊　ＳＥＴ（＄／１０）」メニュー

「SMOOTH　＊　EDIT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



スムースプリセット 1～45 番の各プリセット番号、及び待ち時間を設定します。

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したいスムースプリセット番号の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択したスムースプリセット番号の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」、「BACK」、「NEXT」の文字が反転表示されます。

「ＥＸＩＴ」反転表示時モードボタンを押すと、「5.PLATFORM」メニューに戻ります。→87ページへ

「ＮＥＸＴ」反転表示時モードボタンを押すと、１ページ先の「SMOOTH ＊ SET(＄/10)」メニューに遷移します。但し、(9/10)ページの場合、「SMOOTH ＊ SET(10/10)」メニューに遷移します。→103ページへ

「ＢＡＣＫ」反転表示時モードボタンを押すと、１ページ前の「SMOOTH ＊ SET(＄/10)」メニューに遷移します。但し、(1/10)ページの場合、「SMOOTH ＊ SET(10/10)」メニューに遷移します。→103ページへ

※「＊」は、「SMOOTH　EDIT」メニューで選択されたスムースプリセット番号（1～5）を表示します。

※＄は、現在のページ数を表示します（＄：１～９）。また、スムースプリセット番号は、ページ数に応じて以下のように表示されます。

1ページ目：1，2，3，4，5	7ページ目：３１，３２，３３，３４，３５
2ページ目：6，7，8，9，１０	8ページ目：３６，３７，３８，３９，４０
3ページ目：１１，１２，１３，１４，１５	9ページ目：４１，４２，４３，４４，４５
4ページ目：１６，１７，１８，１９，２０	10ページ目：４６，４７，４８→103ページへ
5ページ目：２１，２２，２３，２４，２５	
6ページ目：２６，２７，２８，２９，３０	

「ＮＯ．＃　ＰＲＥＳＥＴ（＄／１０）」メニュー

「SMOOTH ＊ SET($/10)」メニューで任意のスムースプリセット番号を選択すると、▶マークが PRESET の位置へ移動します。

ＮＯ.	ＰＲＥＳＥＴ	ＷＡＩＴ
1	▶ＯＦＦ	―――ＳＥＣ

スムースプリセット 1～45 番の各プリセット番号を設定します。

※上記表示画面はＮＯ．１に関する仕様ですが、ＮＯ．２～ＮＯ．４５についても同様です。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「1」→「2」→・・・→「255」→「256」→「OFF」→「1」→・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「256」→「255」→・・・→「2」→「1」→「OFF」→「256」→・・・と遷移します。

※ コントローラU-6040 を使用の場合、表示が数字の区間では、1 ステップ分の遷移量をボタン押下の長さに応じて可変します。（単発：+1、連続：+4）

※ ＮＯ．＃のＰＲＥＳＥＴ項目の表示内容が「OFF」の場合は、ＮＯ．＃の WAIT 項目表示が「―――」、「1～256」の場合は、ＮＯ．＃の WAIT 項目表示が既設定項目となります。

ＭＯＤＥ：「OFF」表示時、設定を記憶し「SMOOTH ＊ SET($/10)」メニューに戻ります。→100ページへ

「1～256」表示時、設定を記憶し「NO.＃　WAIT($/10)」メニューに遷移します。→102ページへ

「ＮＯ．＃　ＷＡＩＴ（＄／１０）」メニューー

「NO. ♯ PRESET（$/10）」メニューで任意のプリセット番号を設定すると、▶マークが WAIT の位置へ移動します。

ＮＯ.	ＰＲＥＳＥＴ	ＷＡＩＴ
1	ＯＦＦ	▶0．３ＳＥＣ

スムースプリセット 1～45 番の各待ち時間を設定します。

※上記表示画面はＮＯ．１に関する仕様ですが、ＮＯ．２～ＮＯ．４５についても同様です。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「1」→「2」→・・・→「29」→「30」→「0.3」→「1」→・・・
と遷移します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「30」→「29」→・・・→「2」→「1」→「0.3」→「30」→・・・
と遷移します。

※コントローラ U-6040 を使用の場合、表示が 0.3 以外の区間では、1 ステップ分の遷移量をボタン押下の長さに応じて可変します。（単発：+1、連続：+4）

ＭＯＤＥ：設定を記憶し「SMOOTH ＊ SET($/10)」メニューに戻ります。→100ページへ

「ＳＭＯＯＴＨ　＊　ＳＥＴ（１０／１０）」メニュー

「SMOOTH　＊　SET(9/10)」メニューで「NEXT」を選択すると、下記の画面が表示されます。

ＳＭＯＯＴＨ　＊　ＳＥＴ（１０／１０）

	ＮＯ．	ＰＲＥＳＥＴ	ＷＡＩＴ
▶	４６	ＯＦＦ	－－－ＳＥＣ
	４７	ＯＦＦ	－－－ＳＥＣ
	４８	ＯＦＦ	－－－ＳＥＣ

ＥＸＩＴ　　ＢＡＣＫ　　ＮＥＸＴ

46～48 番のプリセット番号、及び待ち時間を設定します。

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したいスムースプリセット番号の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択したスムースプリセット番号の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」、「BACK」、「NEXT」の文字が反転表示されます。
「ＥＸＩＴ」反転表示時モードボタンを押すと、「5.PLATFORM」メニューに戻ります。→87ページへ
「ＮＥＸＴ」反転表示時モードボタンを押すと、１ページ目の「SMOOTH ＊ SET($/10)」メニューに遷移します。→100ページへ
「ＢＡＣＫ」反転表示時モードボタンを押すと、9 ページ目の「SMOOTH ＊ SET($/10)」メニューに遷移します。→100ページへ

「＊」は、「SMOOTH　EDIT」メニューで選択された番号（1～5）を表示します。

「ＮＯ．＃　ＰＲＥＳＥＴ（１０／１０）」メニュー

「SMOOTH ＊ SET(10/10)」メニューで任意のスムースプリセット番号を選択すると、▶マークが PRESET の位置へ移動します。

ＮＯ.	ＰＲＥＳＥＴ	ＷＡＩＴ
４６	▶ＯＦＦ	―――ＳＥＣ

スムースプリセット 46～48 番の各プリセット番号を設定します。

※上記表示画面はＮＯ．４６に関する仕様です、ＮＯ．４７，ＮＯ．４８についても同様です。

スイッチ説明

ＵＰ　：ボタン押下毎に、・・・→「1」→「2」→・・・→「255」→「256」→「OFF」→「1」→・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、・・・→「256」→「255」→・・・→「2」→「1」→「OFF」→「256」→・・・と遷移します。

※ コントローラ U-6040 を使用の場合、表示が数字の区間では、1 ステップ分の遷移量をボタン押下の長さに応じて可変します。（単発：+1、連続：+4）

※ＮＯ．＃のＰＲＥＳＥＴ項目の表示内容が「OFF」の場合は、ＮＯ．＃の WAIT 項目表示を「―――」に、「1～256」の場合はＮＯ．＃の WAIT 項目表示を既設定項目とします。

ＭＯＤＥ：「ＯＦＦ」表示時、設定を記憶し「SMOOTH ＊ SET(10/10)」メニューに戻ります。→103ページへ

「1～256」表示時、設定を記憶し「NO. ＃ WAIT(10/10)」メニューに遷移します。→105ページへ

「ＮＯ．＃　ＷＡＩＴ（１０／１０）」メニュー

「NO. ♯ PRESET（10/10）」メニューで任意のプリセット番号を選択すると、▶マークが WAIT の位置へ移動します。

ＮＯ.	ＰＲＥＳＥＴ	ＷＡＩＴ
４６	ＯＦＦ	▶０．３ＳＥＣ

スムースプリセット 46～48 番の各待ち時間を設定します。

※上記表示画面はＮＯ．４６に関する仕様ですが、ＮＯ．４７，ＮＯ．４８についても同様です。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、・・・→「1」→「2」→・・・→「29」→「30」→「0.3」→「1」→・・・と遷移します。

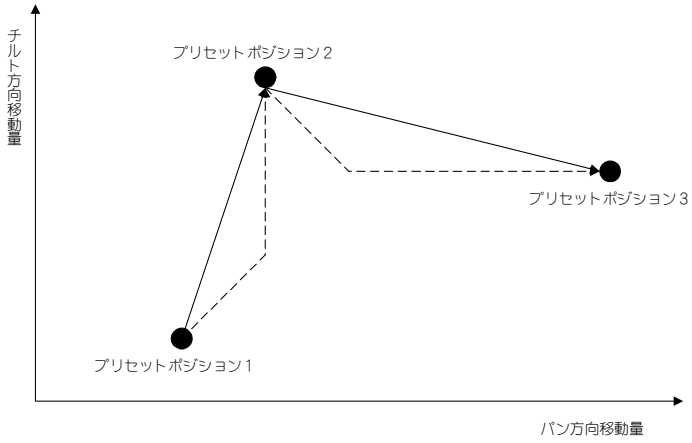
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、・・・→「30」→「29」→・・・→「2」→「1」→「0.3」→「30」→・・・と遷移します。

※コントローラ U-6040 を使用の場合、表示が 0.3 以外の区間では、1 ステップ分の遷移量をボタン押下の長さに応じて可変します。（単発：+1、連続：+4）

ＭＯＤＥ：設定を記憶し「SMOOTH ＊ SET(10/10)」メニューに戻ります。→103ページへ

[スムースプリセットについて]

- スムースプリセット機能は回転台移動中の監視映像を見やすくする機能です。
- 複数のプリセットポジションを順に移動する際、回転台の移動、ズーム、フォーカスの移動を滑らかに行います。（下図）



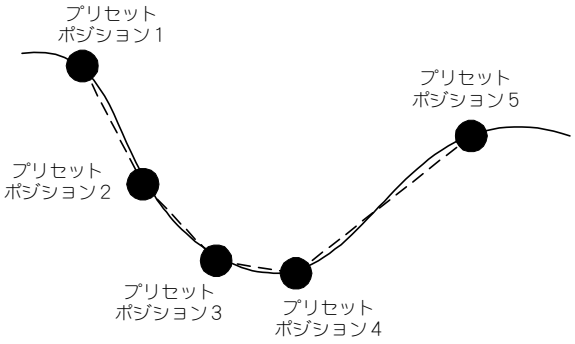
※プリセットポジション1～3への移動を行う場合

点線：従来の回転台の移動軌跡

実線：スムースプリセット機能による回転台の移動軌跡

スムースプリセットでは、回転台はプリセットポジション間の直線距離を移動します。また、ズーム、フォーカスはプリセット移動開始と同時に最速で移動を開始します。

- これまでのようなプリセットポジションごとの監視だけでなく、プリセットポジションとプリセットポジションの間の監視も行うことができ、道路や河川に沿った連続的な監視を行うのに便利です。（下図）



※道路や河川等の監視を行う場合

黒点：プリセットポジション

点線：スムースプリセット機能による回転台の移動軌跡

実線：監視を行ないたい道路や河川等の軌跡

プリセットポジション間の移動中（点線）も監視を行なうことにより、道路や河川等（実線）を漏れなく監視することができる。

注意）

スムースプリセットを行うには、「START UP」メニューで「SMOOTH1」～「SMOOTH5」を選択後、電源を再投入すると起動します。

リモートコントローラーR-2450 にて簡単に起動する方法は、”OPT.3”ボタン＋「SMOOTH1」～「SMOOTH5」の”1～5”のボタンを押します。それぞれスムースプリセット（1～5）に対応して動作します。停止させる場合は、”OPT.3”ボタン＋”8”を押します。

「ＳＴＡＲＴ　ＵＰ」メニュー

「PLATFORM」メニューで「START　UP」を選択します。

```
                    Ｐ Ｌ Ａ Ｔ Ｆ Ｏ Ｒ Ｍ

    Ｓ Ｐ Ｅ Ｅ Ｄ    Ｍ Ｏ Ｄ Ｅ        ３ Ｓ Ｐ Ｅ Ｅ Ｄ
    Ｓ ／ Ｗ    Ｌ Ｉ Ｍ Ｉ Ｔ          Ｅ Ｘ Ｉ Ｔ
    Ａ Ｕ Ｔ Ｏ    Ｓ Ｐ Ｅ Ｅ Ｄ       Ｅ Ｘ Ｉ Ｔ
    Ｓ Ｍ Ｏ Ｏ Ｔ Ｈ    Ｅ Ｄ Ｉ Ｔ     １
▶   Ｓ Ｔ Ａ Ｒ Ｔ    Ｕ Ｐ             ＮＯＮＥ

    Ｅ Ｘ Ｉ Ｔ
```

電源投入時のオート機能動作を設定します。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、・・・→「AUTO PAN」→「AUTO　P/T」→「SMOOTH1」→「SMOOTH2」→「SMOOTH3」→「SMOOTH4」→「SMOOTH5」→「NONE」→「AUTO PAN」→・・・と遷移します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、・・・→「NONE」→「SMOOTH5」→「SMOOTH4」→「SMOOTH3」→「SMOOTH2」→「SMOOTH1」→「AUTO　P/T」→「AUTO PAN」→「NONE」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：設定を記憶し「5.PLATFORM」メニューに戻ります。→87ページへ

注意）

AUTO PAN、AUTO　P/T は、プリセットポジション 15、16 の 2 点間を往復します。専用コントローラ、パソコン等によりあらかじめプリセットポジションの登録を行ってください。

専用コントローラ：当社 U-6040(SM-Y7260)（＋R-2200(SM-Y7261))、CCU カード Q-7904 (SM-Y7448)、入力カード Q-7003(SM-Y7275)、S-9520SA (SM-Y7658)（＋J-4117(SM-Y7364))、R-2450 (SM-Y7635)

また、AUTO PAN、AUTO　P/T、「SMOOTH1」～「SMOOTH5」は、選択後、電源を再投入すると起動します。

「6. ＴＩＭＥ ＡＤＪ」メニュー

「ADJ ITEM」で「6.TIME ADJ」メニューを選択すると、下記の画面が表示されます。

ＴＩＭＥ　ＡＤＪ

▶ ＊＊年　＊＊月　＊＊日　＊＊：＊＊

ＥＸＩＴ

現在の時刻を設定します。

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークの表示が、点灯→消灯→点灯と変化します。

※「▶」マーク消灯時は、「EXIT」を反転表示します。
※「EXIT」反転表示の場合、MODE ボタンを押すとメニュー画面を終了します。
※「▶」マーク点灯時に MODE ボタンを押すと、「年設定」項目へ遷移します。→109ページへ

注）本メニューは保守用です。通常時は設定する必要はありません。

「年設定」項目

「TIME ADJ」メニューで「▶」マーク点灯時に MODE ボタンを押します。

年設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：年の表示がボタン押下毎に増加します。99 年の次は 00 年に遷移します。
ＤＯＷＮ：年の表示がボタン押下毎に減少します。00 年の次は 99 年に遷移します。
ＭＯＤＥ：「月設定」項目に遷移します。→109ページへ

「月設定」項目

「年設定」項目で MODE ボタンを押します。

月設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：月の表示がボタン押下毎に増加します。12 月の次は 01 月に遷移します。
ＤＯＷＮ：月の表示がボタン押下毎に減少します。01 月の次は 12 月に遷移します。
ＭＯＤＥ：「日設定」項目に遷移します。→109ページへ

「日設定」項目

「月設定」項目で MODE ボタンを押します。

日設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：日の表示がボタン押下毎に増加します。その月の最大日の次は 01 日に遷移します。
ＤＯＷＮ：日の表示がボタン押下毎に減少します。01 日の次はその月の最大日に遷移します。
ＭＯＤＥ：「時設定」項目に遷移します。→110ページへ

※その月の最大日は、以下のとおりです。
1 月、3 月、5 月、7 月、8 月、10 月、12 月…31 日
4 月、6 月、9 月、11 月…30 日
2 月で年が 4 の倍数の時…29 日（閏年）、左記以外の 2 月…28 日

「時設定」項目

「日設定」項目で MODE ボタンを押します。

時設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「：」左側の表示がボタン押下毎に増加します。23 時の次は 00 時に遷移します。

ＤＯＷＮ：「：」左側の表示がボタン押下毎に減少します。00 時の次は 23 時に遷移します。

ＭＯＤＥ：「分設定」項目に遷移します。→110ページへ

「分設定」項目

「時設定」項目で MODE ボタンを押します。

分設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明

ＵＰ　　：「：」右側の表示がボタン押下毎に増加します。59 分の次は 00 分に遷移します。

ＤＯＷＮ：「：」右側の表示がボタン押下毎に減少します。00 分の次は 59 分に遷移します。

ＭＯＤＥ：新しく設定された時刻を反映し、メニューを終了します。

[時計機能について]

- CIT-7620 は、時計機能を搭載しています。時刻情報は電源 OFF 後も保持されます。
- 時刻の精度は月差±75 秒です。
- 時刻設定において、秒の設定は自動的に行われます。分設定項目で MODE ボタンを押して、新しい時刻が反映された瞬間が 00 秒となります。

注意）

時刻の精度は月差±75 秒であることから、長期間使用する場合は時間がずれてきます。時間の精度が求められる場合は定期的に時刻合わせを実施してください。

「7. ＳＰＥＣＩＡＬ」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「7.SPECIAL」を選択すると、下記の画面が表示されます。

本機に登録済みの4桁のパスワードを入力することで、以下の各種設定メニューに入ることができます。

パスワード	メニュー	参照ページ
１１９２	「ＭＩＣＳＰＥＥＤ」メニュー	112ページ
７６３２	「ＰＩＸＡＤＤ」メニュー	113ページ
７６３１	「ＭＩＳＴ」メニュー	120ページ

パスワード入力スイッチ説明

ＵＰ　　：反転表示されている＊を０→９まで変化します。９の場合は０に遷移します。

ＤＯＷＮ：反転表示されている＊を９→０まで変化します。０の場合は９に遷移します。

ＭＯＤＥ：＊の反転表示を１つ右隣に遷移します。＊の反転表示が一番右隣の場合は、NEXT を反転表示して NEXT/RTN 選択に遷移します。

NEXT/RTN 選択スイッチ説明

ＵＰ／ＤＯＷＮ ：反転表示を「NEXT」→「RTN」→「NEXT」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ　　：「RTN」反転時、パスワード入力画面に戻ります。
「NEXT」反転時、パスワード入力値に応じたメニューに遷移し、
規定値以外であればメニューを終了します。

「ＭＩＣＳＰＥＥＤ」メニュー

「PASSWORD」メニューでパスワード「1192」を入力して NEXT を選択すると、下記の画面が表示されます。

Ｍ Ｉ Ｃ　 Ｓ Ｐ Ｅ Ｅ Ｄ

＊ ＊

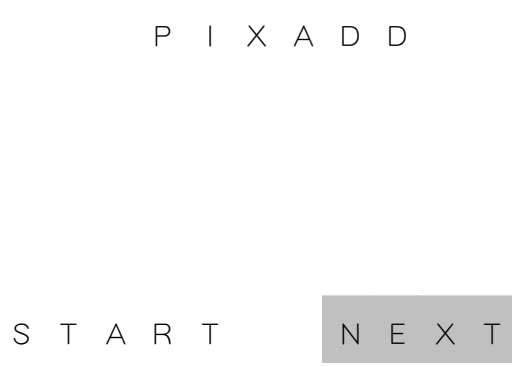
アイリスの速度を設定することができます。設定値が大きいほどアイリスが速く、小さいほど遅く動作します。アイリスの反応が遅い場合は設定値を大きく、アイリスがハンチングを起こす場合は設定値を小さくすることで、アイリス動作を最適化することができます。

入力スイッチ説明
ＵＰ　　：反転表示されている＊＊を０→１５まで変化します。
ＤＯＷＮ：反転表示されている＊＊を１５→０まで変化します。
ＭＯＤＥ：設定値を記憶してメニュー画面を終了します

注１）本設定を大きい値に設定した場合、アイリスがハンチングを起こす場合があります。小さい値に設定した場合、アイリスが途中で停止する場合があります。
注２）本設定は、INITIAL 処理（P.39）を行っても初期化されませんのでご注意ください。工場出荷設定は「８」です。

「ＰＩＸＡＤＤ」メニュー

「PASSWORD」メニューでパスワード「7632」を入力して NEXT を選択すると、下記の画面が表示されます。



ＳＴＡＲＴ／ＮＥＸＴ選択スイッチ説明

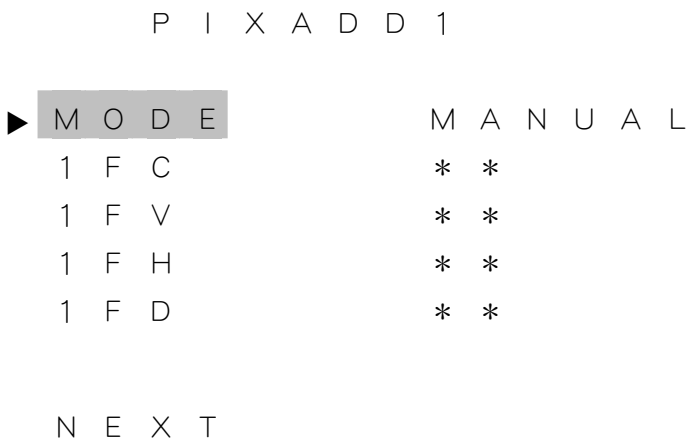
ＵＰ／ＤＯＷＮ：反転表示が「START」→「NEXT」→「START」→・・・と遷移します。

ＭＯＤＥ：「START」反転時、「PIXADD1」メニューに遷移します。

「NEXT」反転時、メニューを終了します。

「ＰＩＸＡＤＤ１」メニュー

「PIXADD」メニューで START を選択すると、下記の画面が表示されます。



高感度化のための画素加算のモード設定、および重み値を設定します。

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「NEXT」の文字が反転表示されます。
　この状態でモードボタンを押すと、「PIXADD2」メニューに遷移します。→117ページへ
　ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

MODE：115ページ
1FC：115ページ
1FV：115ページ
1FH：116ページ
1FD：116ページ

「ＭＯＤＥ」項目

「PIXADD1」メニューで「MODE」を選択すると項目が反転し、画素加算の自動／手動設定ができます。

[AUTO] ：周囲が暗くなると、照度に合わせて自動で画素加算を行います。
「PAMAX」項目により、最大画素加算量を決定することができますので、設置状況に応じて感度アップの範囲を設定することができます。
[MANUAL]：画素加算量を手動で調整します。
「1FC」「1FV」「1FH」「1FD」「3FV」「3FD」の各項目を設定します。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、・・・→「AUTO」→「MANUAL」→「AUTO」→・・・と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、・・・→「AUTO」→「MANUAL」→「AUTO」→・・・と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「PIXADD1」メニューに戻ります。→114ページへ

「１ＦＣ」項目

「PIXADD1」メニューで「1FC」を選択すると項目が反転し、注目画素に対する加算重み値設定ができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0」→「1」→「2」→・・・→「13」→「14」→「15」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「15」→「14」→「13」→・・・→「2」→「1」→「0」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「PIXADD1」メニューに戻ります。→114ページへ
※設定値は「MODE」項目が MANUAL の場合に有効となります。

「１ＦＶ」項目

「PIXADD1」メニューで「1FV」を選択すると項目が反転し、注目画素の垂直方向周辺画素に対する加算重み値設定ができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0」→「1」→「2」→・・・→「13」→「14」→「15」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「15」→「14」→「13」→・・・→「2」→「1」→「0」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「PIXADD1」メニューに戻ります。→114ページへ
※設定値は「MODE」項目が MANUAL の場合に有効となります。

「１ＦＨ」項目

「PIXADD1」メニューで「1FH」を選択すると項目が反転し、注目画素の水平方向周辺画素に対する加算重み値設定ができます。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0」→「1」→「2」→・・・→「13」→「14」→「15」と遷移します。

ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「15」→「14」→「13」→・・・→「2」→「1」→「0」と遷移します。

ＭＯＤＥ：設定を記憶し「PIXADD1」メニューに戻ります。→114ページへ

※設定値は「MODE」項目が MANUAL の場合に有効となります。

「１ＦＤ」項目

「PIXADD1」メニューで「1FD」を選択すると項目が反転し、注目画素の斜め方向周辺画素に対する加算重み値設定ができます。

スイッチ説明

ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0」→「1」→「2」→・・・→「13」→「14」→「15」と遷移します。

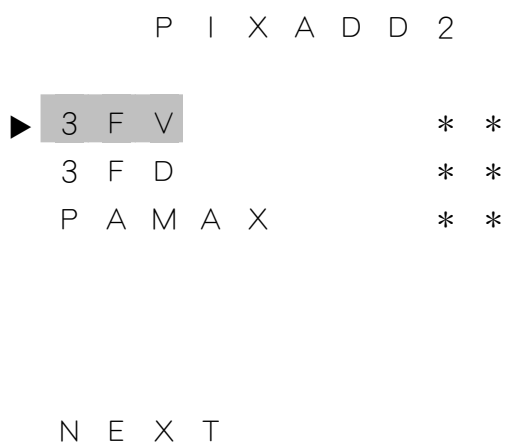
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「15」→「14」→「13」→・・・→「2」→「1」→「0」と遷移します。

ＭＯＤＥ：設定を記憶し「PIXADD1」メニューに戻ります。→114ページへ

※設定値は「MODE」項目が MANUAL の場合に有効となります。

「ＰＩＸＡＤＤ２」メニュー

「PIXADD1」メニューで NEXT を選択すると、下記の画面が表示されます。



高感度化のための画素加算の重み値、および各重み値の上限を設定します。

ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、ＭＯＤＥボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。
※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「NEXT」の文字が反転表示されます。
この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。
ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。
※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

3FV：118ページ
3FD：118ページ
PAMAX：118ページ

「３ＦＶ」項目

「PIXADD2」メニューで「3FV」を選択すると項目が反転し、注目画素と異なるフィールド（前後１フィールド）上の、注目画素の垂直方向に位置する周辺画素に対する加算重み値設定ができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0」→「1」→「2」→・・・→「13」→「14」→「15」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「15」→「14」→「13」→・・・→「2」→「1」→「0」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「PIXADD2」メニューに戻ります。→117ページへ
※設定値は「MODE」項目が MANUAL の場合に有効となります。

「３ＦＤ」項目

「PIXADD2」メニューで「3FD」を選択すると項目が反転し、注目画素と異なるフィールド（前後１フィールド）上の、注目画素の斜め方向に位置する周辺画素に対する加算重み値設定ができます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「0」→「1」→「2」→・・・→「13」→「14」→「15」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「15」→「14」→「13」→・・・→「2」→「1」→「0」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「PIXADD2」メニューに戻ります。→117ページへ
※設定値は「MODE」項目が MANUAL の場合に有効となります。

「ＰＡＭＡＸ」項目

「PIXADD2」メニューで「PAMAX」を選択すると項目が反転し、画素加算自動動作時の加算量の上限が設定できます。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、「1」→「2」→・・・→「11」→「12」→「13」と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、「13」→「12」→「11」→・・・→「2」→「1」と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶し「PIXADD2」メニューに戻ります。→117ページへ
※設定値は「MODE」項目が AUTO の場合に有効となります。

［画素加算機能について］

画素加算機能とは、複数の画素の信号を足し合わせることで、感度アップを行う機能です。

- 電子増感機能と比較して、被写体のブレを抑えて感度アップを行うことができますが、ノイズの発生量は多くなります。
- 加算する画素の量が多いほど感度はアップしますが、ノイズが目立つ場合があります。
- 電子増感機能と組み合わせることで、より暗い被写体を写すことが可能になります。
- 画素加算機能を OFF にする場合は、関連項目を下記のとおりに設定します。
  「MODE」項目が AUTO の場合　：「PAMAX」項目を「1」にします。
  「MODE」項目が MANUAL の場合：下表のとおりに設定します。（工場出荷時設定）

設定項目	1FC	1FV	1FH	1FD	3FV	3FD
設定値	2	0	0	0	0	0

画素加算機能を使用する場合は、下記の注意が必要です。

(1)画素加算量が大きい場合は、ノイズが目立つ場合があります。
　また、DNR 機能が AUTO に設定されている場合は、ノイズを抑えるために DNR が強く働きますので、被写体にブレを生じる場合があります。
(2)「MODE」項目が AUTO の場合、画素加算機能は明るさに応じて自動で動作しますが、明るさが変化して画素加算機能が動作するタイミングで、一瞬画面が明るくなる場合があります。
(3)「MODE」項目が MANUAL の場合、被写体が明るい状態で画素加算機能を動作させると、画面が真っ白になる場合があります。
(4)「1FH」項目もしくは「1FD」項目の設定値を大きくした場合、水平解像度が低下します。
(5)「1FV」項目もしくは「1FD」項目の設定値を大きくした場合、垂直解像度が低下します。
(6)「3FV」項目もしくは「3FD」項目の設定値を大きくした場合、動きのある被写体に残像が生じる場合があります。
(7)画素加算機能が自動制御（（PIXADD1 メニューの「MODE」項目が AUTO）かつ低照度環境(約 30lx 以下)時は、IRIS SEL 機能は動作しません。ハンチングや白とびが発生する場合もありますので、NORMAL に設定して下さい。→41 ページ参照

「ＭＩＳＴ」メニュー

「PASSWORD」メニューでパスワード「7631」を入力して NEXT を選択すると、下記の画面が表示されます。

霧除去機能の強度を設定します。

スイッチ説明
ＵＰ　　：ボタン押下毎に、・・・→「OFF」→「LOW」→「MID」→「HIGH」→「OFF」→・・・
　　と遷移します。
ＤＯＷＮ：ボタン押下毎に、・・・→「OFF」→「HIGH」→「MID」→「LOW」→「OFF」→・・・
　　と遷移します。
ＭＯＤＥ：設定を記憶しメニュー画面を終了します。

［霧除去機能について］

- ■ 霧除去機能は、霧　もや等の発生時に使用することで、コントラストを改善し、視認性を向上させる効果があります。
- ■ 「LOW」→「MID」→「HIGH」の順に霧除去の効果は大きくなります。

霧除去機能を使用する場合は、下記の注意が必要です。

(1)霧除去機能を使用すると、ノイズが目立つ場合があります。
(2)霧除去機能を「HIGH」で使用すると、被写体の暗い部分が黒潰れしたり、明るい部分が白とびしたりすることがあります。
(3)画面内に黒に近い被写体（黒い柱、木、建物等）があると、霧除去の効果が小さくなることがあります。
(4)霧除去の効果が小さい場合は、画角を変えるか望遠にして、黒に近い被写体を画面から除外することで、霧除去機能が効きやすくなります。

カメラ電源について

- 専用コントローラのカメラ電源スイッチを OFF にすると、カメラの映像信号はグレー画面一色となります。
  専用コントローラ：当社 U-6040(SM-Y7260)(＋R-2200(SM-Y7261))、CCU カード Q-7904 (SM-Y7448)、
  入力カード Q-7003(SM-Y7275)、S-9520SA (SM-Y7658)(＋J-4117(SM-Y7364))、
  R-2450 (SM-Y7635)
- この時、カメラの電源は遮断されません。また、専用コントローラからの操作はカメラ選択と、カメラ電源スイッチしか受け付けません。
- 再度カメラ電源スイッチを ON にすると、グレー画面は解除され、カメラは回転台の原点位置に移動後、最初にカメラ電源スイッチを OFF にした位置に戻ります。

回転角度の調整

- CIT-7620 は、水平（パン）、垂直（チルト）方向の回転角度（回転可能範囲）を「S/W　LIMIT メニュー」により調整することができます。
- 回転角度の調整のしかたは、本書の「S/W　LIMIT メニュー」の欄を参照してください。

（ご注意）

- プリセットポジション登録は、ソフトウェアリミットの設定後に行ってください。
- ソフトウェアリミットより外側（旋回不可範囲）へプリセットポジションが登録してあると、プリセットポジション位置まで到達できません。

スリップリングクリーニングについて

- クリーニング動作を起動すると、右方向に２回転します。
- 水平方向の回転角度を調整してある場合は、回転可能範囲を２往復します。
- クリーニングを完了すると、自動的に元の位置に停止します。
- CIT-7620 では、水平（パン）方向の 360° エンドレス回転を行うために、スリップリングと呼ばれる特殊な部品を使用して、映像信号や電源の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、水平方向の回転時に映像の劣化やノイズが発生することがあります。常に最良の状態でお使いいただくために、最低 1 週間に一度は水平方向操作を 360° 以上繰り返し行ってください。
- CCU カード Q-7904 （SM-Y7448）または RS-422/RS-232C 経由でパソコンから制御する場合を除き、クリーニング動作を起動できません。
- CCU カード Q-7904 （SM-Y7448）または RS-422/RS-232C 経由でパソコンから制御しない場合は、水平方向のマニュアル動作にて 360° 以上動作させてください。

脱調について

- CIT-7620 は回転台駆動にステッピングモータを使用しているため、回転台に過度な負荷が加わると脱調します。
- 脱調した場合、自動的に脱調を検出し、原点検出を行って脱調を補正し、脱調を検出した位置に戻り停止します。
- 寒冷地などで回転台が凍結し、原点検出を 2 回繰り返しても回転台が動作できない場合、脱調補正をしないまま停止します。
- 脱調補正をしない状態で停止中に回転台動作命令を行うと、脱調補正のための原点検出を行い原点検出前の位置に停止します。ここで原点検出が正常に行われれば、以降は回転台動作命令に従い動作します。再び脱調を検出した場合は脱調補正しないまま停止します。
- ステッピングモータの脱調はモータの特性上発生するもので、故障ではありません。

デフロスタについて

■ デフロスタは、コントローラからの ON/OFF 制御により、ON することができます。CIT-7620 では、本体周囲温度を検出し、ある一定以下の温度となった場合デフロスタ ON し、ある一定以上の温度となった場合デフロスタ OFF と自動的に切り換えます。

照明灯について

■ CIT-7620 はオプションで照明灯が取り付けられます。

定期交換部品について

■ CIT-7620 の定期交換部品と、交換時期を以下に示します。

部品名	交換時期
ワイパブレード	１年
スリップリング	１００万往復
ワイパモータ	５００時間（月６時間使用で７年に相当します。）
リミットスイッチ	２０万回
ファン	４万時間
ＥＣガラス	３年

回転動作による劣化について

■ 回転動作による性能劣化（初期性能を満足しない、動作不可を含む）は設置場所の環境条件、使用条件により左右されますが、設計上の数値（目安）を以下に示します。下記の数値を超えた場合は再調整、部品の交換が必要となる場合がありますのでサービスをお申しつけください。

パン／チルト高速プリセット旋回（パン１８０°／秒、チルト９０°/秒）動作
各 1,000,000 往復（旋回 390 往復/日×365 日×7 年相当）

レンズ動作による劣化について

■ フォーカス、ズーム動作は、約１万往復が耐久の目安となります。この数値を超えた場合は、部品の交換が必要となる場合がありますので、サービスをお申し付けください。

雷対策について

- 本機は、電源部ならびに同軸信号ラインに雷対策部品を採用し、落雷による誘導電圧対策を行っておりますが、複数回の誘導電圧が印可されると対策部品自身の特性により耐雷性能が劣化する事があります。
- 雷対策部品の許容値を超えた誘導電圧が印可されたり、直雷を受けたりした場合は製品が故障もしくは破損する事があります。
- 雷対策部品は正しい接地工事が試されていない場合、性能を発揮しません。接地工事の方法は「据付工事説明書」を参照してください。
- 雷による機器の故障は保証期間内であっても無償修理規定（２）の②に掲げる天災に相当しますので、有料修理となります。
- 多雷地帯等での設置は、特殊な電源装置　接地工事等が必要になる場合がありますので、専門業者にご相談願います。

ＣＣＤの傷について

- ＣＣＤは宇宙線の影響により、まれに白傷が発生することが報告されております。定量的データはありませんが、高度の高い地点での設置、航空機によるＣＣＤ（セット含む）輸送により発生頻度が高くなる事が確認されておりますので極力航空機による製品輸送は避けてください。
- 現時点でこれを防ぐ有効な手段はありません。本機はS/Wによる白傷補正を行っており、従来機種に比べ、白傷は改善されておりますが、細かな傷等が残る場合があります。白傷により運用上の弊害が発生した場合はＣＣＤ交換を推奨いたします。（有料）

オートフォーカスについて

- フォーカスを合わせたいときに、コントローラからオートフォーカス機能を起動することができます。（ワンプッシュオートフォーカス）
- フォーカスが合うまで、しばらく時間がかかることがあります。
- オートフォーカスは映像信号のコントラストを検出して動作するため、被写体によっては、フォーカスが合わないことがあります。この場合には手動でフォーカスを合わせてください。
- フォーカスの合いづらい条件を下記に示します。
  - 単色の壁など、コントラストのない被写体の場合。
  - 画面上に距離の異なる２つ以上の被写体がある場合。
  - 横縞の被写体。（水平のブラインド等）
  - 強い逆光の被写体。
  - 暗い場所。
  - 電子増感が働いているとき。
  - 電子ズームが働いているとき。

映り込みについて

- カメラを強い光（太陽、照明など）の方向に向けた場合、映像に映り込み（レンズフレア）が発生することがあります。映り込みは光の入射角により増減しますので、カメラの向きを変えることで軽減することができます。

モアレ(干渉縞)について

- 細かい柄の被写体（例えば格子模様の服等）を撮影すると色のついた縞模様が画面に表れる場合があります。これはモアレ（干渉縞）と呼ばれる現象です。縞模様が出た場合は画角（ズームや撮影角度）を変えることで軽減することが出来ます。

色ノイズについて

- 色ノイズが強い場合は、「3.COLOR」メニューの「C LEVEL」(P.83)をL方向にすることで色ノイズを低減することができます。

低温時の通電について

- -5℃以下で動作させる場合は連続通電させて下さい。
- -5℃以下で通電開始させる場合、レンズ、回転台が正常に動作しない場合がありますので、約2時間の通電後、レンズ、回転台を動作させて下さい。

ワイパ動作について

- ワイパ動作ボタンはワイパが動き出すまで押し続けてください。
- ワイパ動作ボタンを短く押すとワイパが微小に動作し停止する場合がありますが、その後ワイパ動作ボタンをワイパが動き出すまで押し続けるとワイパ可動範囲を往復して停止します。

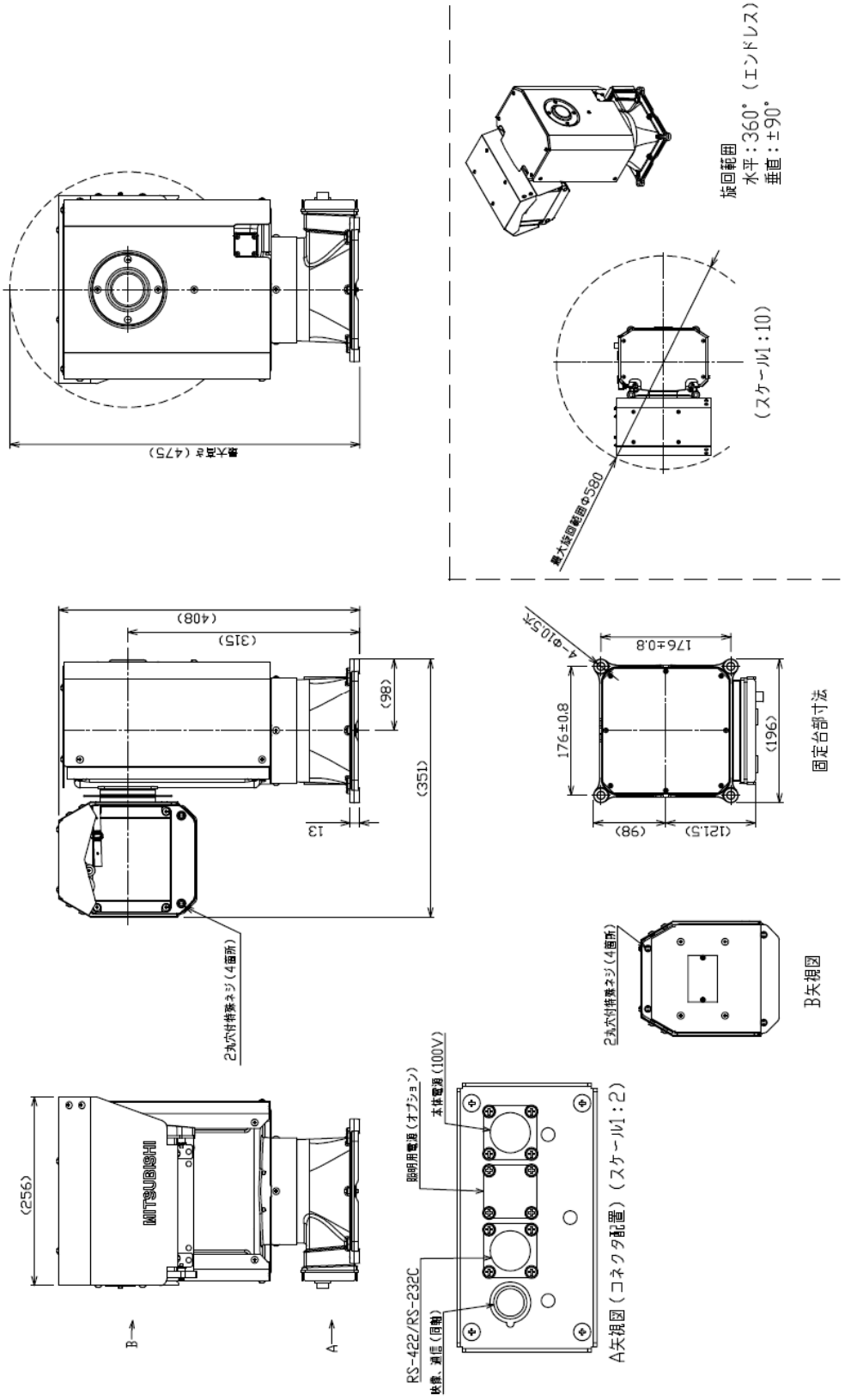
故障かな？とおもったら

下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は、機種名、接続構成、現象および発生時の状況を記録し、電源を切ってからサービスをお申しつけください。

症状	ここをお調べください	参照頁	確認欄
本機の電源が入らない	電源用コネクタに電源コードは入っていますか。	P. 15	
	電源コードに AC100V は供給されていますか。	P. 15	
映像が出ない	同軸ケーブルは正しく映像コネクタに入っていますか。	P. 15	
	モニタの電源スイッチは ON になっていますか。	P. 16	
レンズや回転台の制御ができない	ご使用のコントローラもしくはパソコン（RS-422/RS-232C）と本機の設定が合っていますか。	P. 35	
	同軸ケーブルは正しく映像コネクタに入っていますか。	P. 15	
映像にノイズがのる	同軸ケーブルは正しく映像コネクタに入っていますか。	P. 15	
	水平方向に 360° 以上動作させてスリップリングをクリーニングしてみましたか。	P. 121	
ワイパが動作しない	ワイパ動作ボタンを短く押していませんか。	P. 125	

外形

単位：mm


旋回範囲
水平：360°（エンドレス）
垂直：±90°
（スケール1：10）
最大旋回範囲Φ580
最大高さ（475）
（408）
（315）
（98）
（86）
（351）
13
2次穴付押えネジ（4箇所）
4-Φ10.5穴
176±0.8
176±0.8
（196）
（121.5）
（98）
固定台部寸法
2次穴付押えネジ（4箇所）
B矢視図
（256）
MITSUBISHI
B
A
照明用電源（オプション）
本体電源（100V）
RS-422/RS-232C
映像、通信（同軸）
A矢視図（コネクタ配置）（スケール1：2）

保証とアフターサービス

1　無償修理規定

（1）保証期間内（お買いあげ日より１年間）に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。

（2）保証期間中でも次の場合には有料修理になります。

① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、及びその他天災地変などによる故障及び損傷。

③ 特殊環境（たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など）による故障及び損傷。

2　補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は７年です。（性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。）詳しくはお求めの販売店にご相談ください。